

移住に関するアンケート調査結果

平成28年3月22日

株式会社 三菱総合研究所

目次

1. 調査概要.....	2
1.1 調査の目的	2
1.2 調査の実施要領	2
1.3 設問の構成	3
2. 結果の概要	4
2.1 回答者の特性	4
2.2 現在の暮らし・今後の暮らしについて	4
2.3 地方移住に関する意向	4
2.4 南魚沼市への関心	4
3. 集計結果.....	5
3.1 回答者の属性	5
3.2 集計結果.....	7

1. 調査概要

1.1 調査の目的

南魚沼版CCRCの主たるターゲットとなる首都圏住民の地方移住に関するインサイト（考え方／価値観／具体的ニーズ）を探り、今後のマーケティングや施設計画への反映等、事業推進のための基礎資料を得ることを目的として、アンケート調査を実施した。

1.2 調査の実施要領

アンケート調査は、以下の要領に基づき実施した。

● 調査名：首都圏居住者に対するアンケート調査
● 実施方法：アンケート調査会社が保有するモニターを対象としたWebアンケート
● 実施期間：平成28年2月19日～22日
● 対象者：首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）に居住し、 地方移住に関心のある50～64歳の男女 4,123人
● 回収条件：可能な限り、50～54歳、55～59歳、60～64歳の男女の数が 均等になるように回収する

※グラフ中の数値は、四捨五入の関係で、合計が必ずしも100%にならないことがある。

1.3 設問の構成

設問は、事前調査を除き、以下の25問の構成となっている。

<事前調査>

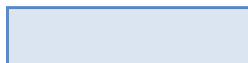
1	現在の年齢	3	性別
2	現在の居住地	4	地方移住への関心

<本調査>

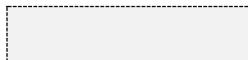
1	出身地・1年以上住んだことのある地域	14	セカンドライフで取り組みたいこと
2	現在の居住地への居住年数	15	地方移住する場合に暮らしてみたい地域
3	現在の住まい	16	地方移住する場合の同居人
4	同居家族	17	地方移住する場合に希望する生活スタイル
5	世帯主	18	地方移住する場合に暮らしたい住まい
6	家族の中で重要な決定権を持つ人	19	地方移住する場合に不安や課題だと思うこと
7	現在の職業	20	新潟県や南魚沼市へのゆかり
8	業種（事業内容）	21	南魚沼市での暮らしに対する印象
9	定年退職後の生活費	22	南魚沼市に関する興味・関心を持った理由
10	現在お金をかけていること・今後かけたいこと	23	南魚沼市に興味・関心を持てなかった理由
11	これまでの経験から得意なこと	24	南魚沼市に移住する場合に取り組みたいこと
12	心や身体の健康	25	南魚沼市でのお試し居住への参加意向
13	家族の介護の見込み		

なお、集計結果に関しては、以下のとおり単純集計とクロス集計の結果を区別している。

単純集計：



クロス集計：



2. 結果の概要

2.1 回答者の特性 <図 1～図 11>

- 現在の居住地・出身地とも一都三県の人が多い。また、現在の居住地に20年以上あるいは生まれてからずっと住んでいる人も多い。
- 住まいの多くは持家で、回答者の7割前後が現在も会社やパート・アルバイトなどで働いている。

2.2 現在の暮らし・今後の暮らしについて <図 12～図 25>

- 男女いずれの年代でも国内・海外旅行や外食・グルメなどにお金をかけている人が多い。
- 現在お金をかけていないが今後お金をかけたいこととしては、国内・海外旅行に加えて住宅リフォームや生涯学習・その他の勉強が多くなっている。
- 定年・引退後のセカンドライフの暮らしで取り組みたいことにおいても国内・海外旅行の人気の高い。そのほか、趣味やスポーツを楽しんだり、同世代の仲間と交流したりすることを希望する人も多い。

2.3 地方移住に関する意向 <図 26～図 43>

- 地方移住する場合に暮らしてみたい地域では、一都三県・北信越・沖縄県・北海道の人気の高い。沖縄県や北海道を希望する人を除けば、地方への移住への関心・興味がありながらも多くの人は一都三県から近い距離に住みたい意向があると考えられる。特にこうした傾向は女性において顕著である。
- 地方移住する場合に希望する生活スタイルとしては、街中や郊外などのほどよく便利な場所や、自然豊かな田舎の人気の高い。女性は高齢になるほど、駅に近く利便性の高い場所を希望する傾向がある。
- 希望する生活スタイルについては、以下の傾向が見られた。
 - 駅に近接し便利な場所を好む傾向がある人
：女性（特に高齢な方）、専業主婦（夫）、宿泊業・飲食サービス業 など
 - 街中や郊外のほどよく便利な場所を好む傾向がある人
：現在は働いていない人、金融業・保険業、学術研究・専門技術者 など
 - 学生や留学生などと交流できる場所を好む傾向がある人
：南魚沼市のお試し居住参加意向が高い人、若い世代との交流や学習への関心が高い人 など
 - 都市部から離れた自然が豊かな田舎を好む傾向がある人
：男性、会社員等の定職に就いている人、農業や自給自足の生活への関心が高い人 など
- 希望する生活スタイルとして学生や留学生などと交流できる場所を好む人は、セカンドライフにおいて働き続けることや他世代との交流に積極的な傾向があり、移住のターゲットとして有望だと考えられる。

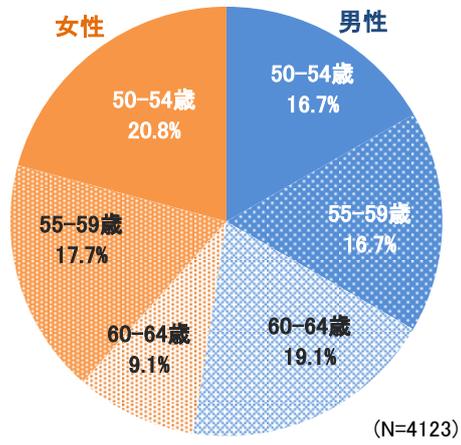
2.4 南魚沼市への関心<図 37～図 54図 25>

- 回答者の約半数が南魚沼市への暮らしに興味・関心を持っており、お試し居住を体験したいと回答している。訴求するポイントとしては、豊かな自然や温泉、食などの地域資源が挙げられる。
- 一方、興味・関心が持てなかった人の中には雪や寒暖、買い物などの利便性への不安を挙げる人が多かった。

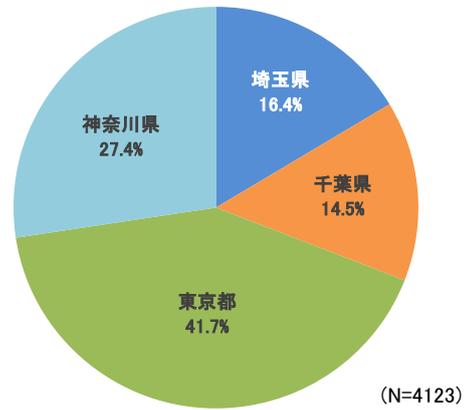
3. 集計結果

3.1 回答者の属性

【性・年齢構成】

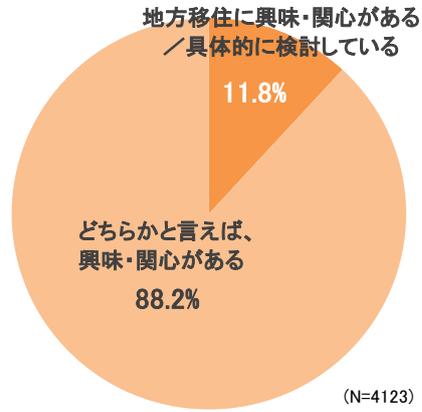


【現在の居住地】

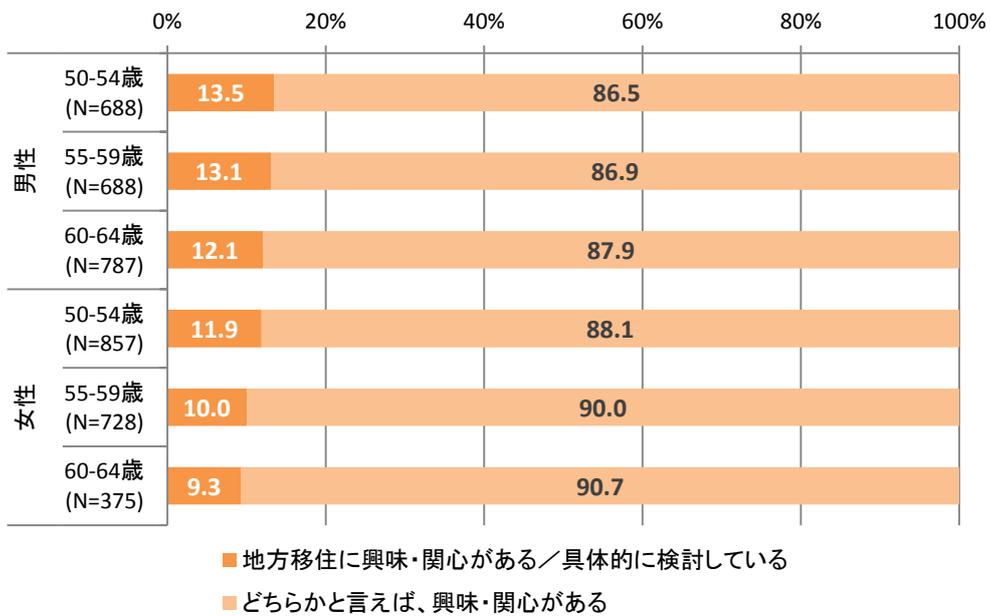


【地方移住への関心】

<全体>



<性別・年代別>

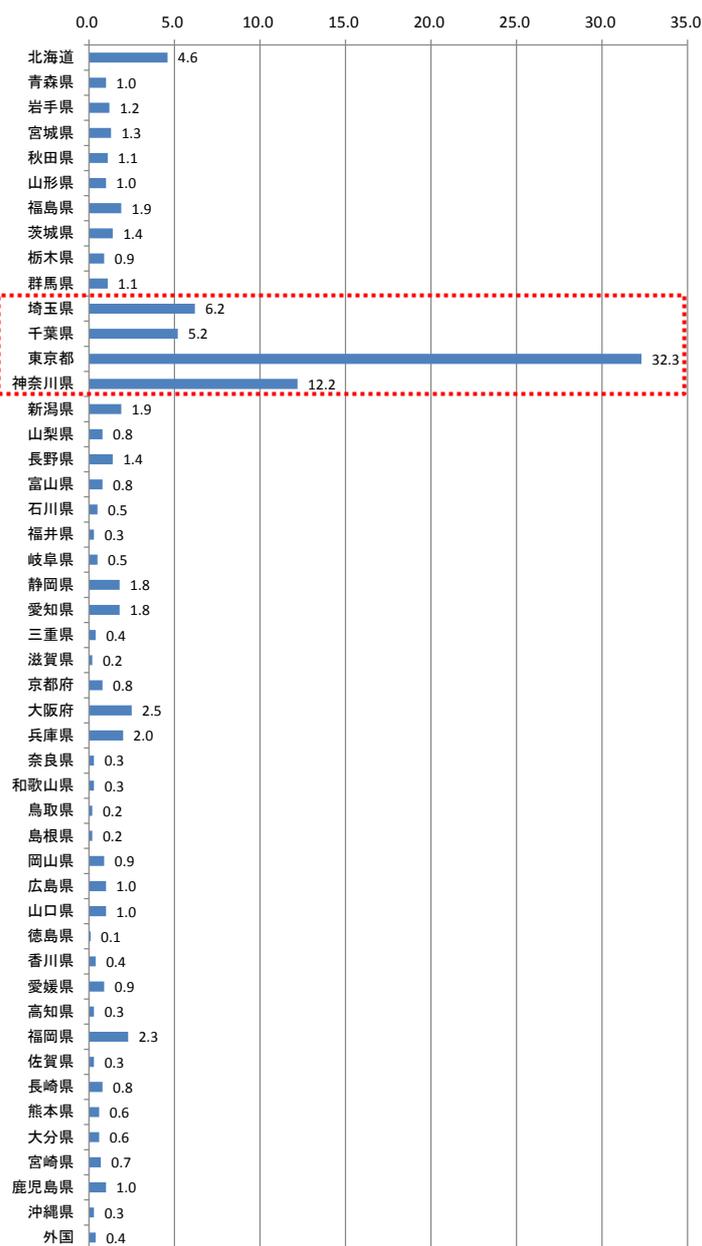


3.2 集計結果

(1) 回答者の属性

Q1-1. あなたの出身地はどちらですか。(単回答)

出身地について見ると、「東京都」が32.3%と最も多く、次いで「神奈川県」が12.2%、「埼玉県」が6.2%、「千葉県」が5.2%と、一都三県が全体の55.9%を占めている。

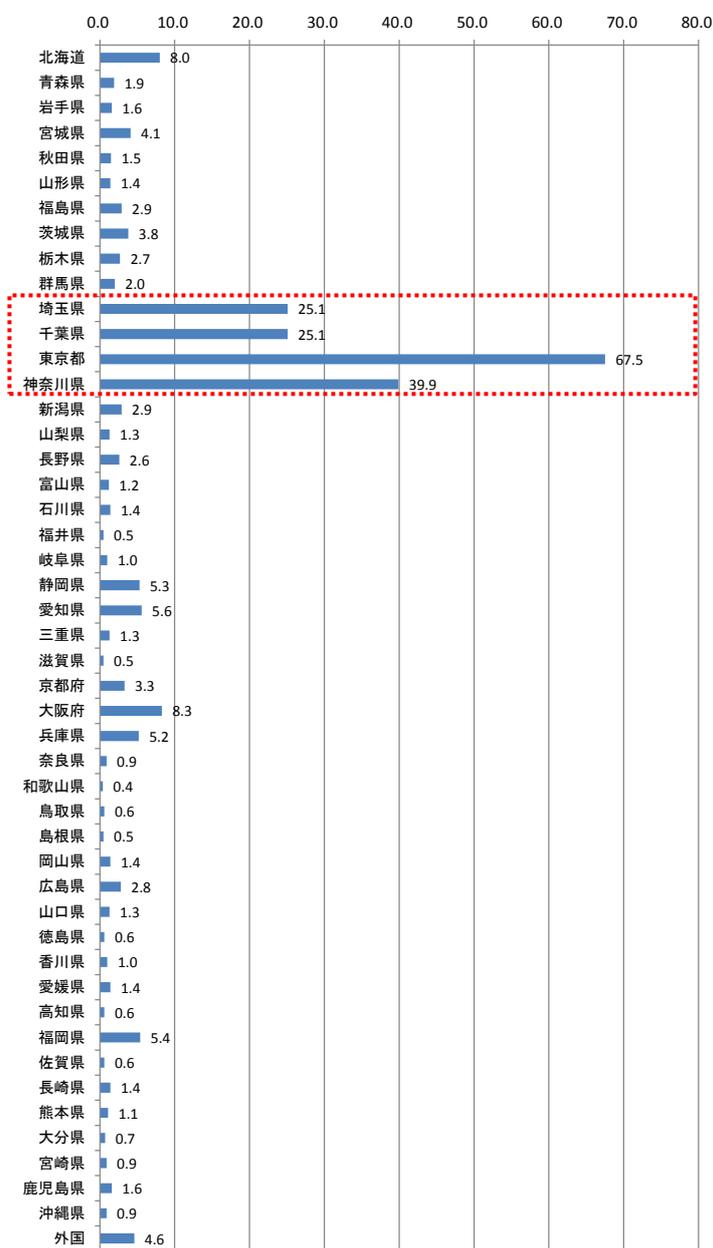


(N=4123)

図 1 出身地 [回答者数 : 4,123]

Q1-2. あなたがこれまでに1年以上住んだことのある地域をすべてお選びください。（複数回答）

これまでに1年以上住んだことのある地域について見ると、「東京都」が67.5%と最も多く、次いで「神奈川県」が39.9%、「埼玉県」と「千葉県」が25.1%、となっている。回答者のうち、「新潟県」に居住したことがある人は全体の2.9%であった。



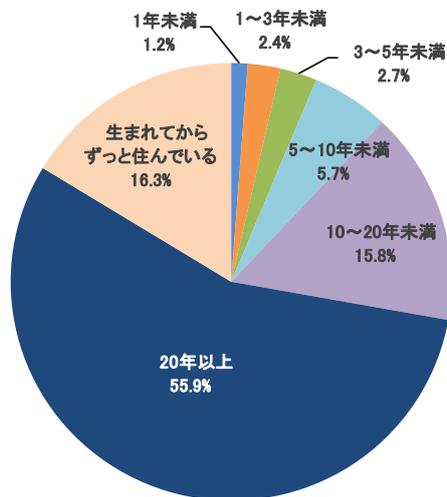
(N=4123)

図 2 これまでに1年以上住んだことのある地域 [回答者数：4,123]

Q2. 現在の居住地には何年くらいお住まいですか。

複数お住まいがある方は、メインのものについてお答えください。(単回答)

現在の居住地への居住年数について見ると、「20年以上」が55.9%と最も多く、次いで「生まれてからずっと住んでいる」が16.3%、「10～20年未満」が15.8%と、一都三県における居住経験の長い人が全体の大部分を占めている。



(N=4123)

図 3 現在の居住地への居住年数 [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

現在の居住地への居住年数について性別・年代別に見ると、年齢が上がるほど「20年以上」と回答した人の割合が高くなっている。

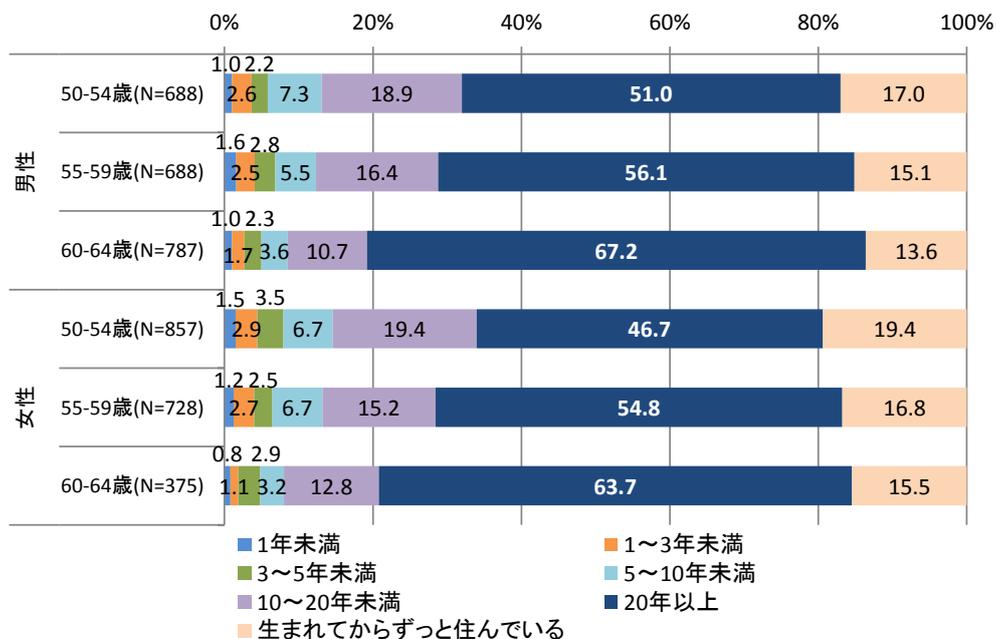


図 4 現在の居住地への居住年数 (性別・年代別) [回答者数：男性：2,163／女性：1,960]

Q3. あなたの現在の住まいについて、あてはまるものをお選びください。

複数お住まいがある方は、メインのものについてお答えください。（単回答）

現在の住まいについて見ると、「持家・一戸建て」が42.8%と最も多く、次いで「持家・アパート/マンション」が28.4%となっており、持家と回答した人が全体の4分の3程度を占めている。

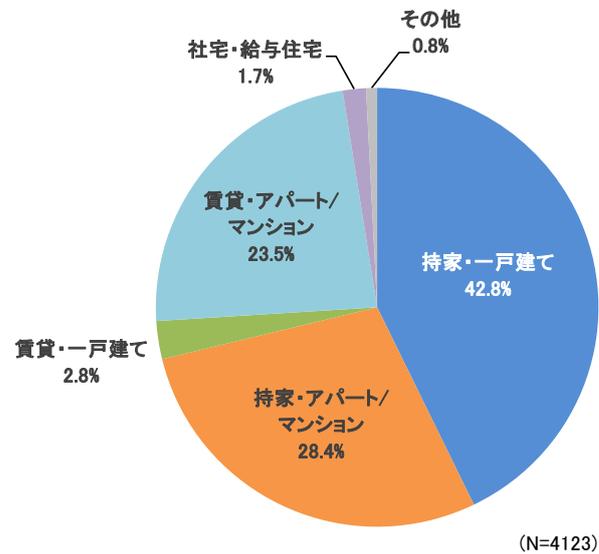


図 5 現在の住まい [回答者数：4,123]

Q4. あなたの同居家族について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

夫婦で住んでいる人が71.7%おり、子どもと住んでいる人は47.0%いる。回答者のうち16.3%が一人暮らしをしている。

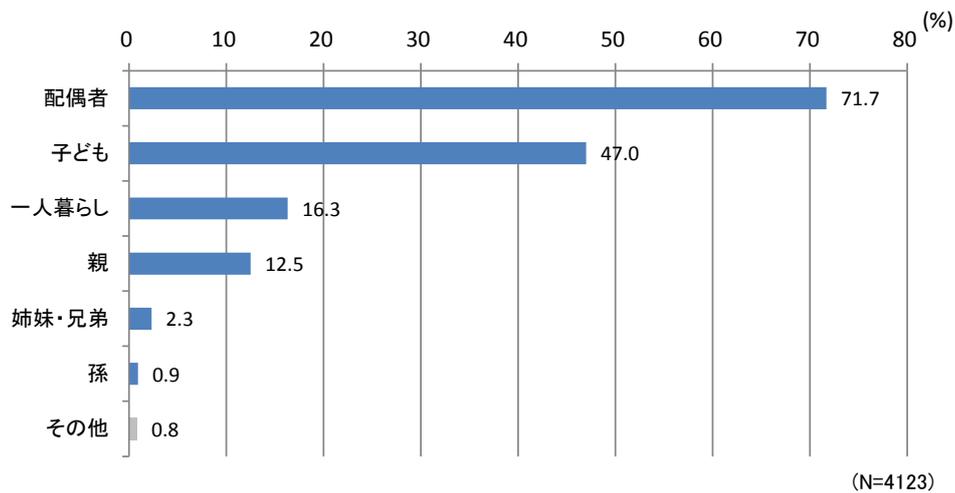


図 6 同居家族 [回答者数：4,123]

Q5. 同居家族がいらっしゃる方にお伺いします。世帯主の方をお知らせください。(単回答)

世帯主は「自分」が53.4%と最も多く、次いで「配偶者」が41.0%となっている。

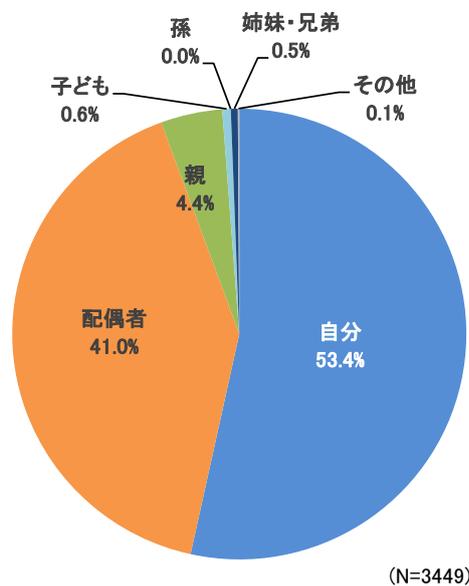


図 7 世帯主 [N数 (回答者数 : Q4で「一人暮らし」と回答した方以外) : 3,449]

Q6. 住む場所や大きな買い物など、重要な決定を行う際に、家族の中で最終的な選択権は誰にあると思いますか。（単回答）

重要な決定を行う際の選択権については、「自分」が67.7%と最も多く、次いで「配偶者」が25.8%となっている。

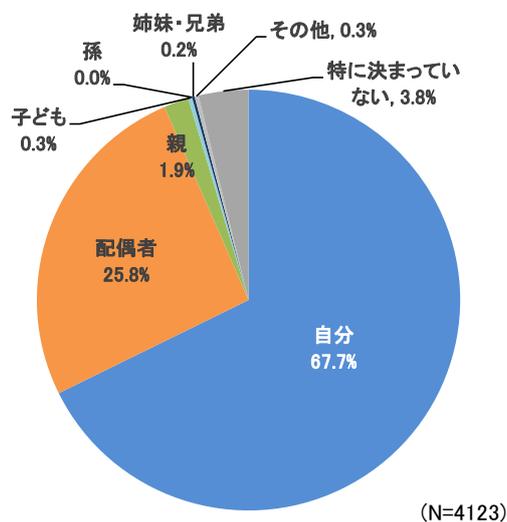


図 8 家族の中での最終的な選択権 [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

重要な決定を行う際の選択権について性別・年代別に見ると、女性よりも男性の方が「自分」と回答した割合が高くなっている。女性では「配偶者」と回答した割合が高く、男性の方が家族の中での最終的な決定権を有するケースが多いと考えられる。

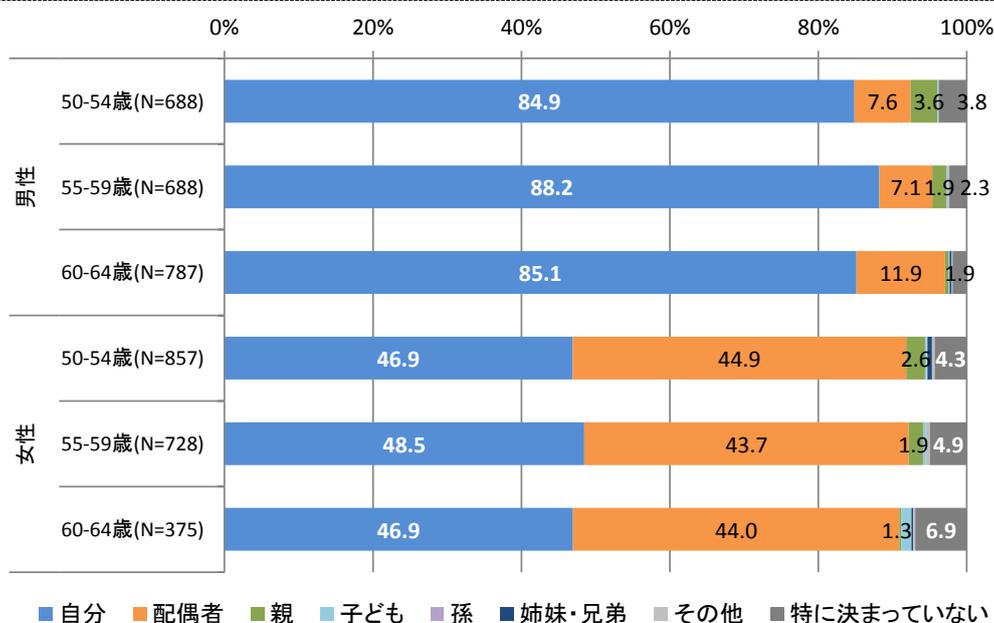


図 9 現在の居住地への居住年数（性別・年代別） [回答者数：男性：2,163／女性：1,960]

Q7. あなたの現在の職業について、あてはまるものをお選びください。

複数職業がある方は、メインのものについてお答えください。(単回答)

職業について見ると、「会社員（正社員）」が29.2%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」が18.5%、「パート・アルバイト」が14.3%となっている。

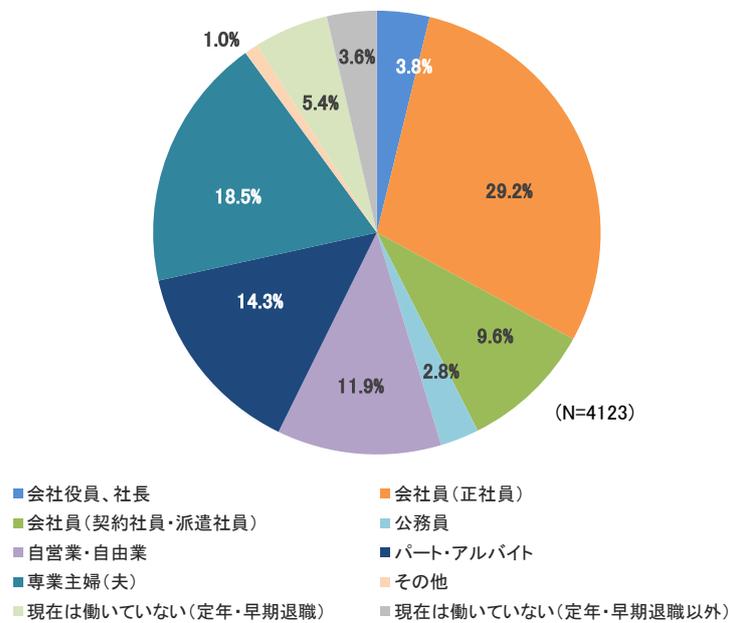


図 10 現在の職業 [回答者数：4,123]

Q8. あなたの業種（主な事業内容）について、最も近いものをお選びください。

複数職業がある方は、メインのものについてお答えください。（単回答）

業種について見ると、「その他のサービス業」が21.2%と最も多く、次いで「製造業」が14.6%、「卸売業・小売業」が10.4%となっている。

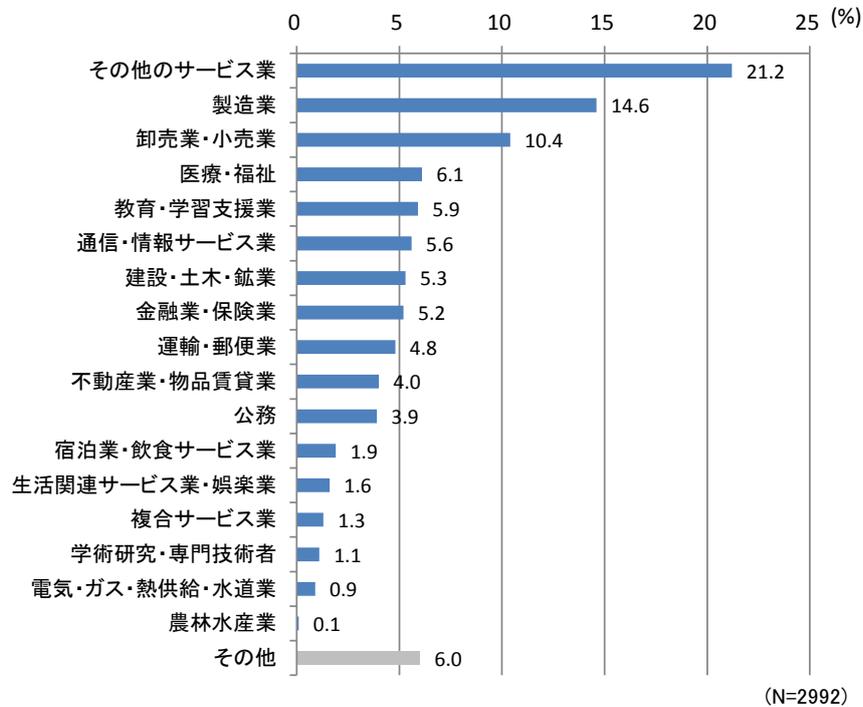


図 11 業種 [回答者数：2,992]

※ Q7で「専業主婦（夫）」、「現在は働いていない」と回答した人を除く

(2) 現在の暮らし・今後の暮らしについて

Q9. 定年・早期退職後、ご自分1人の生活費（家賃や食費、光熱費など）に、一か月あたり、どれくらいの金額をかけたいと思いますか。あてはまると思うものをお選びください。

すでに定年・早期退職されている方は現在のご自分1人の1か月あたりの生活費について、概算でお答えください。（単回答）

生活費について見ると、「10万円～12万円未満」が13.8%と最も多く、次いで「14万円～16万円未満」が12.2%、「9万円以上10万円未満」が12.1%となっている。

回答者の分布として、8万円未満、9万円～22万円に回答が集中している。

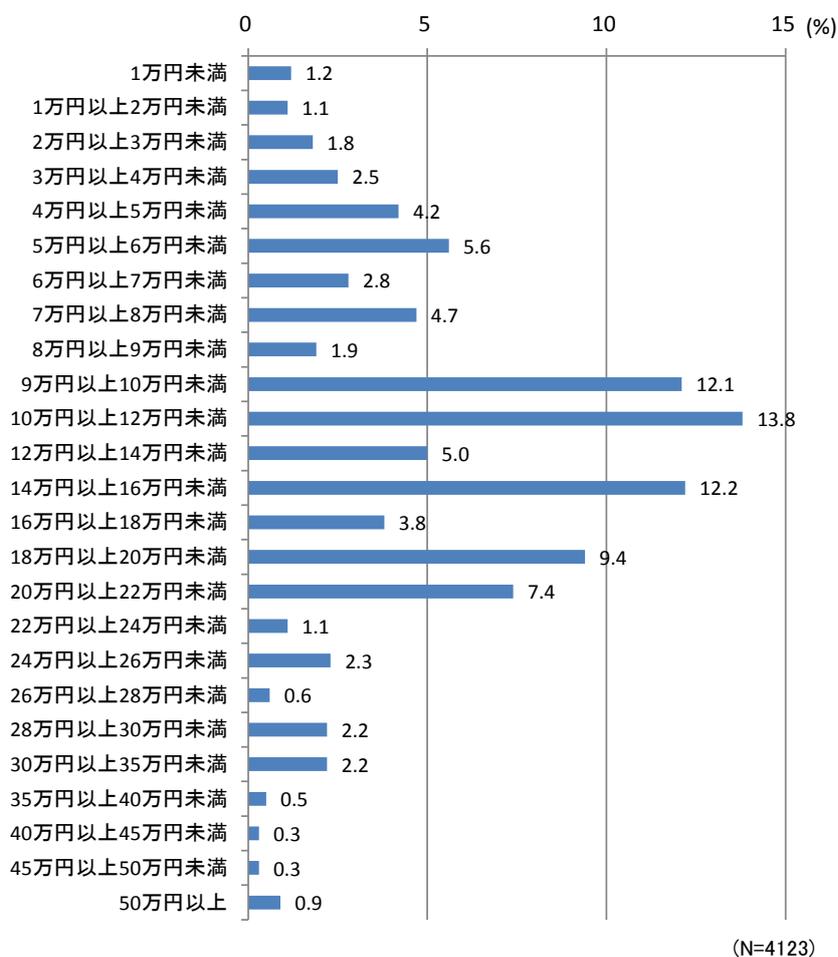


図 12 一か月あたりの生活費 [回答者数：4,123]

Q10. あなたが現在お金をかけていることは何ですか。また、今後お金をかけたいと思うことは何ですか。それぞれあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

- ・ 現在お金をかけていることでは、「国内旅行」が48.8%と最も多く、次いで「外食・グルメ」、「PC・インターネット」となっている。
- ・ 今後お金をかけたいと思うことでは、現在お金をかけていることと同様に「国内旅行」が56.6%と最も多く、次いで「海外旅行」が33.5%、「外食・グルメ」が29.9%となっている。
- ・ 現在よりも今後お金をかけたいと思う割合が5.0ポイント以上高くなるものとしては、「国内旅行」、「海外旅行」、「住宅リフォーム」、「生涯学習・その他の勉強」が挙げられる。

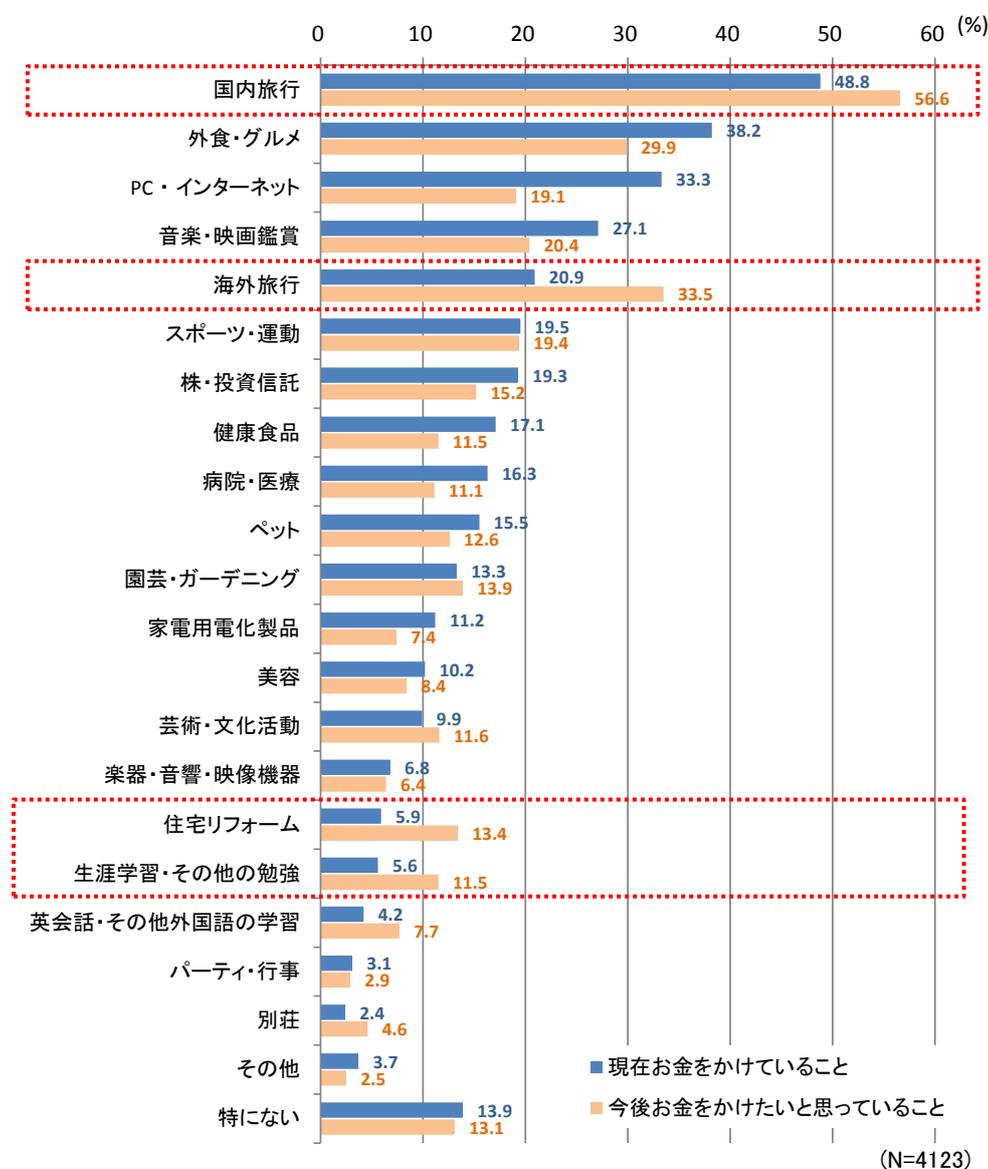
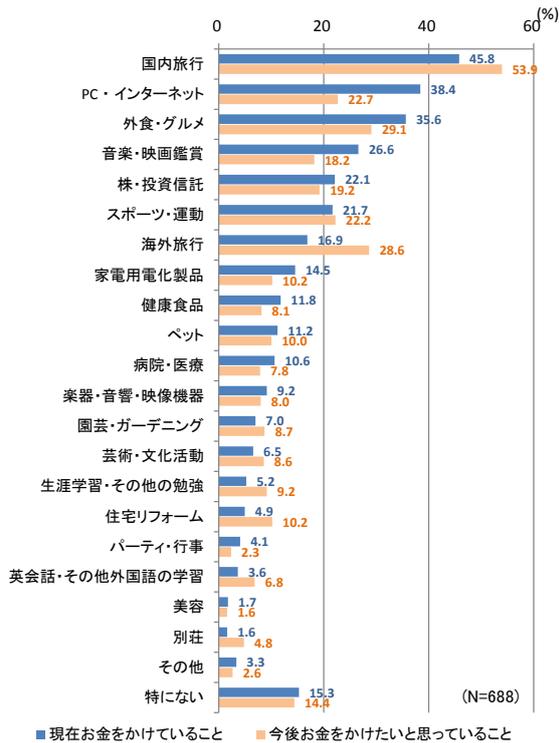


図 13 現在お金をかけていること、今後お金をかけたいと思っていること
[回答者数：4,123]

＜性別・年代別＞

- ・ 現在お金をかけていること今後お金をかけたいと思っていることについて、性別・年代別に見ると、現在お金をかけていることでは、いずれの性別・年代でも「国内旅行」が最も多くなっている。
- ・ 現在よりも今後お金をかけたいと思う割合が5.0ポイント以上高くなるものとしては、年齢による違いはあるが、総じて「国内旅行」、「海外旅行」、「住宅リフォーム」、「生涯学習・その他の勉強」、「英会話・その他外国語の学習」の割合が高い傾向がある。

【男性 50-54歳】



【女性 50-54歳】

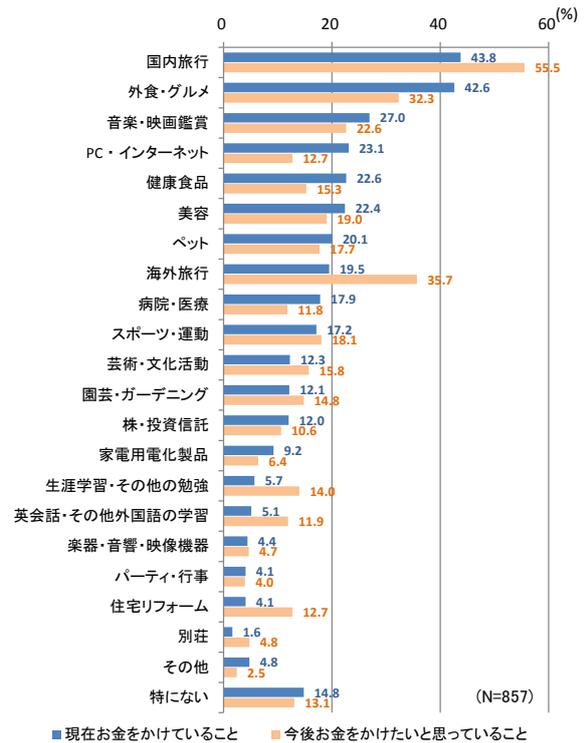
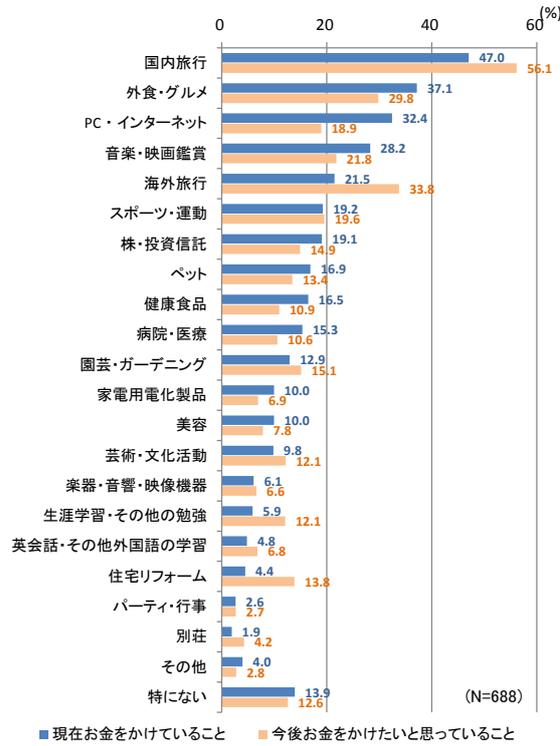


図 14 現在お金をかけていること、今後お金をかけたいと思っていること（性別・年代別：50-54歳）

[男性 55-59歳]



[女性 55-59歳]

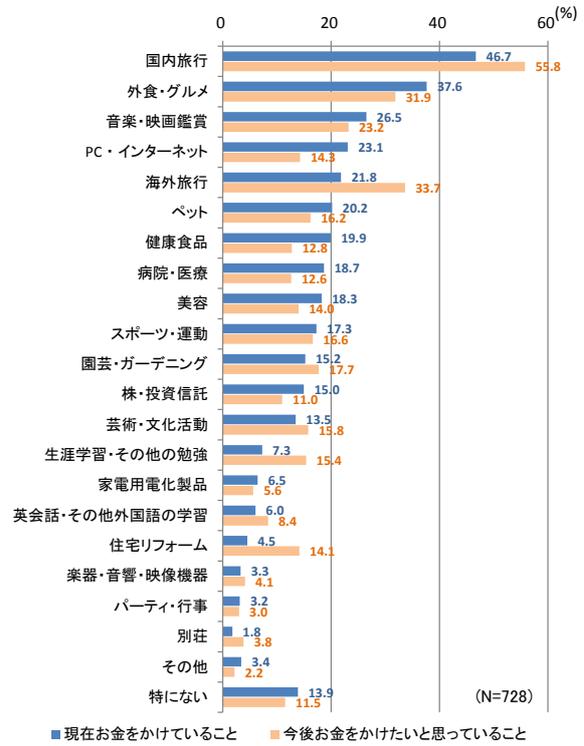
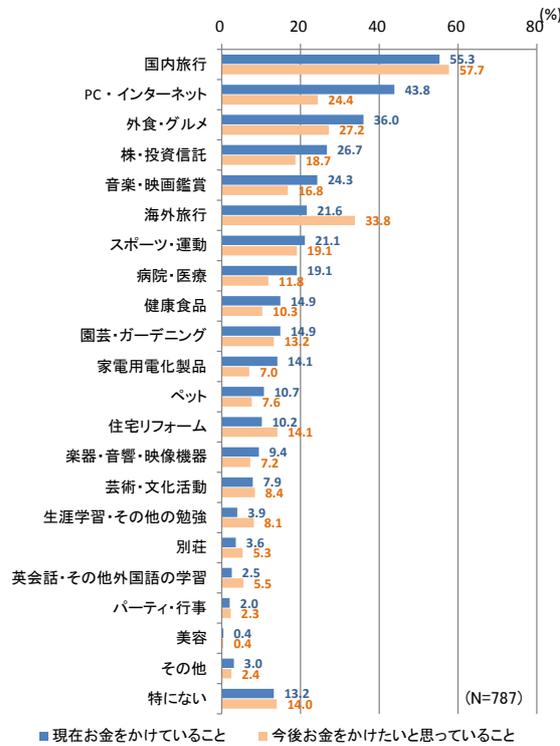


図 15 現在お金をかけていること、今後お金をかけたいと思っていること（性別・年代別：55-59歳）

[男性 60-64歳]



[女性 60-64歳]

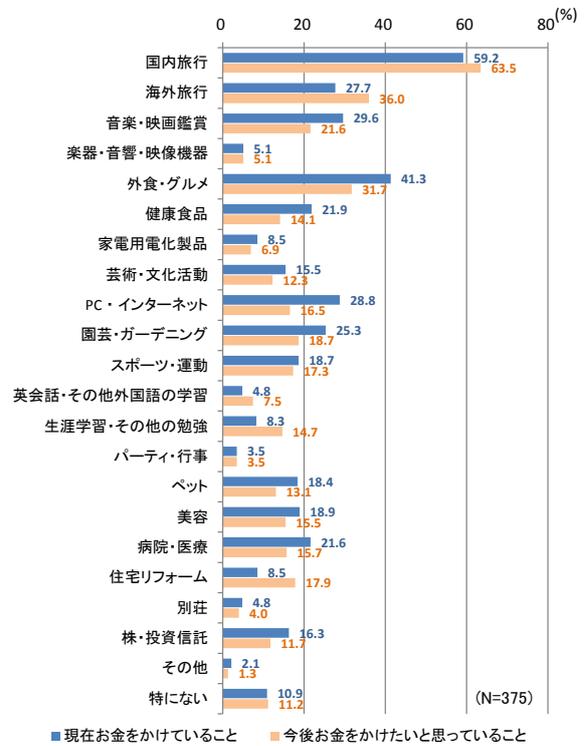


図 16 現在お金をかけていること、今後お金をかけたいと思っていること（性別・年代別：60-64歳）

Q11. これまでのご経験（職業、趣味など）から、得意とされていることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

得意としていることについて見ると、「人の話を聞くこと」が38.4%と最も多く、次いで「事務書類を扱うこと」が30.5%、「人と段取りの調整をすること」が23.0%となっている。

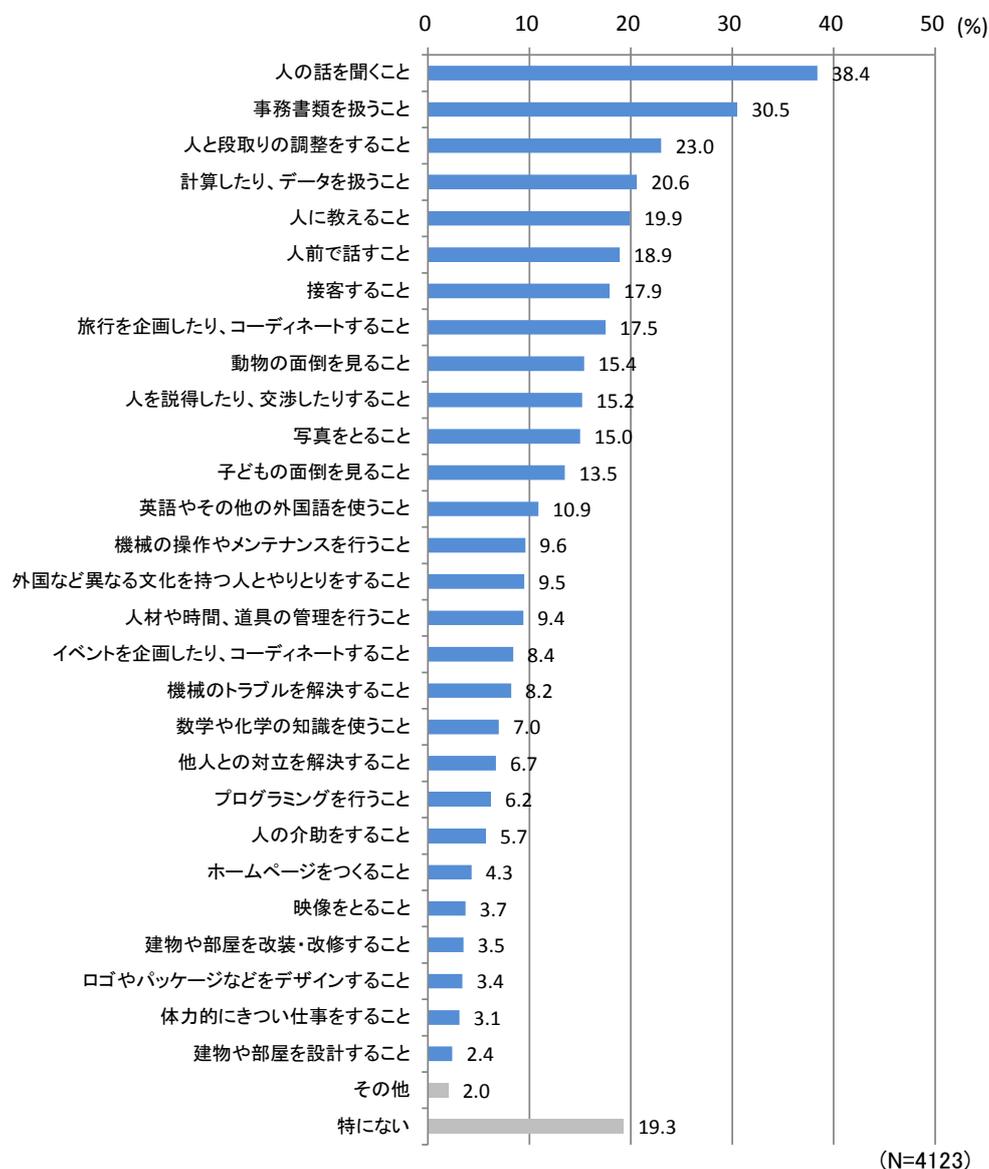


図 17 得意とされていること [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

- 得意としていることについて性別・年代別に見ると、男性では女性よりも「計算したり、データを扱うこと」、「写真をとること」、「機械の操作やメンテナンスを行うこと」、「機械のトラブルを解決すること」の回答割合が高くなっている。
- 一方女性では、男性よりも「接客する事」や「動物の面倒を見ること」、「子どもの面倒を見ること」の回答割合が高い傾向がある。

[男性] ※男性全体の値が多い順で並び替え

[女性] ※女性全体の値が多い順で並び替え

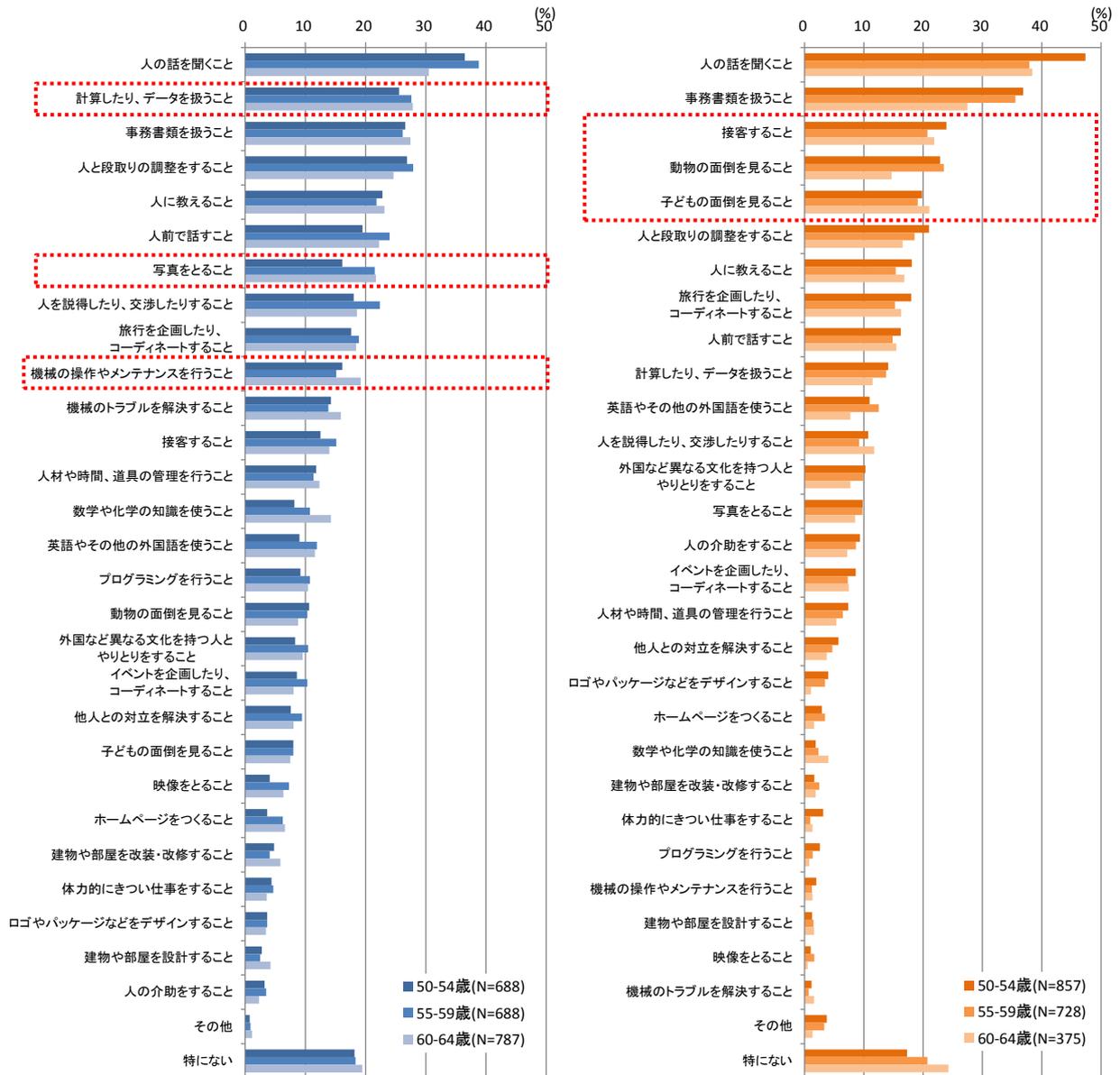


図 18 得意とされていること（性別・年代別） [回答者数：男性：2,163／女性：1,960]

Q12. 心や体の健康についてお伺いします。それぞれの項目について、あてはまるものをお選びください。(単回答)

「そう思う」と回答した割合が低い項目に着目すると、「精神的に豊かでゆとりのある生活をしている」や「身体の健康に自信がある」と考える人の割合は10%未満と、他の項目に比べて低くなっている。

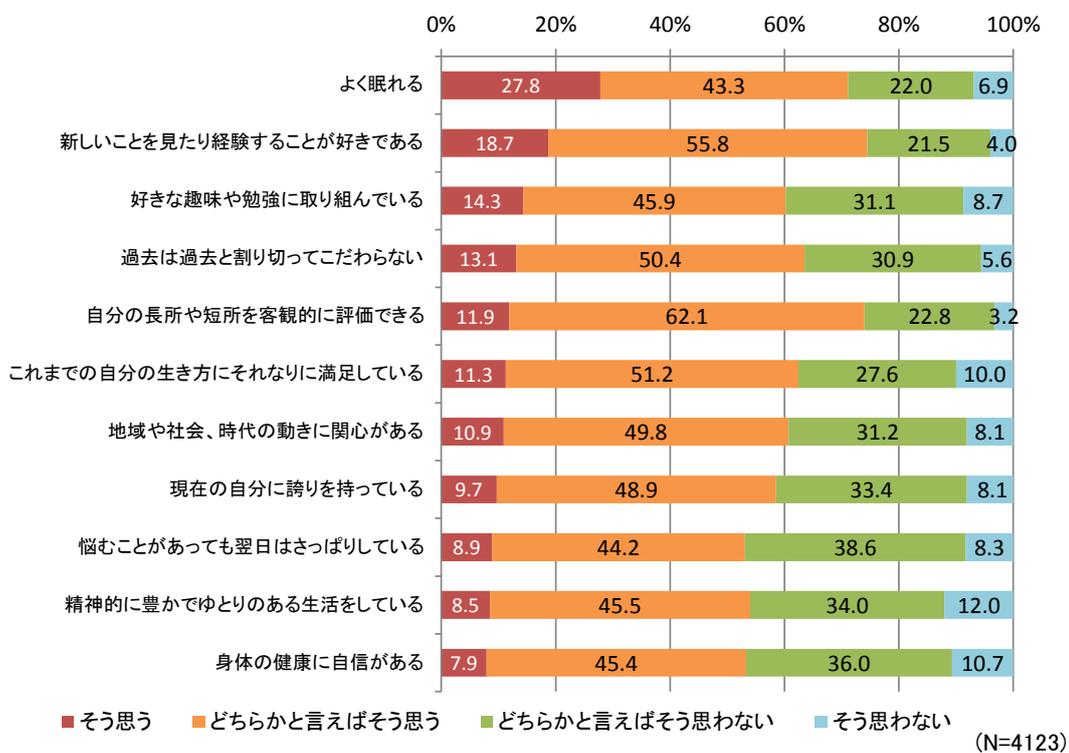
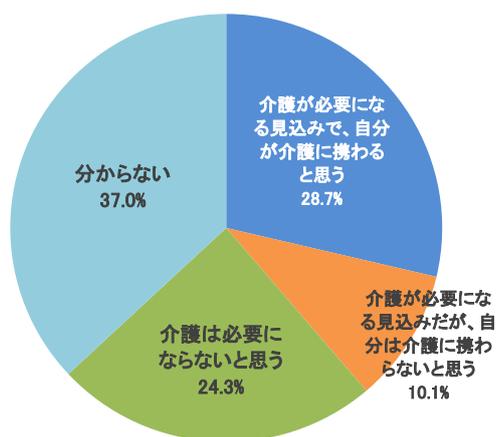


図 19 心や健康について [回答者数：4,123]

Q13. 今後、ご家族の介護が必要になる見込みはありますか、またその際にあなたは介護に携わる見込みですか。(単回答)

家族の介護について聞いたところ、介護が必要になるかどうか、あるいは家族の介護に自分が携わるか「分からない」と回答した人が37.0%と最も多い。一方、「介護が必要になる見込みで、自分が介護に携わらと思う」と回答した人は全体の28.7%を占めている。



(N=4123)

図 20 家族の介護が必要になる見込み、自身が介護に携わる見込み[回答者数：4,123]

<性別・年代別>

- ・ 家族の介護が必要になる見込み、自身が介護に携わる見込みについて、性別・年代別に見ると、男性よりも女性の方が、またより若い年齢の方が「自分が介護に携わらと思う」と回答した割合が高い傾向がある。
- ・ また、60-64歳では他の年齢に比べて「介護は必要にならないと思う」と回答した割合が高くなっている。

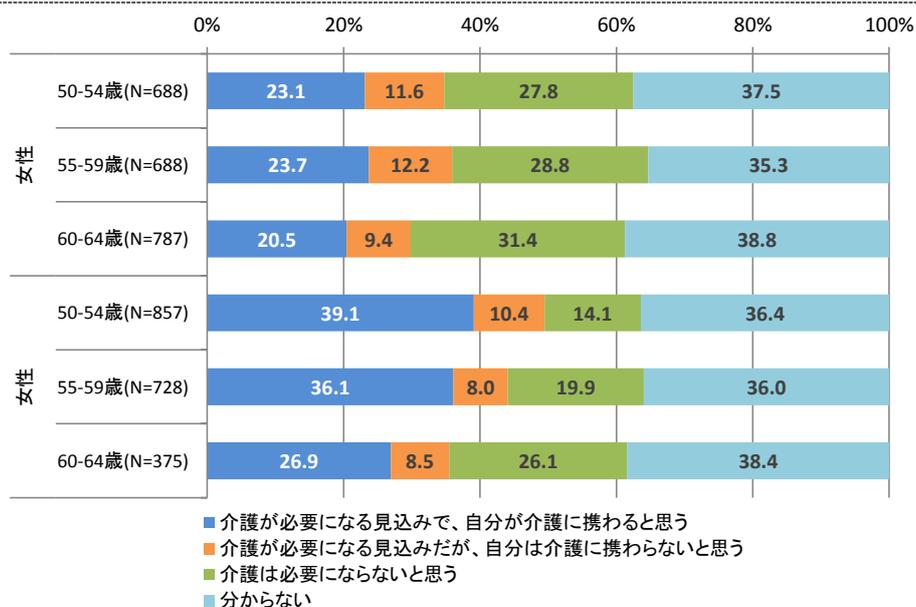


図 21 家族の介護が必要になる見込み、自身が介護に携わる見込み（性別・年代別）
[回答者数：男性：2,163／女性：1,960]

Q14. 定年・引退後のセカンドライフの暮らしについて、どのようなことに取り組みたいですか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

また、選んだ項目の中から特に取り組みたいものを、1つお選びください。（単回答）

- ・ 取り組みたいこと・特に取り組みたいことともに、「国内旅行や海外旅行を楽しむ」、「趣味やスポーツを楽しむ」「同世代の仲間と交流する」と回答した人の割合が高い。
- ・ 特に取り組みたいことに着目すると、「国内旅行や海外旅行を楽しむ」、「趣味やスポーツを楽しむ」「同世代の仲間と交流する」、「何らかの形で働き続ける」、「農業や自家菜園で自給自足の生活をする」と回答した人の割合が高くなっている。

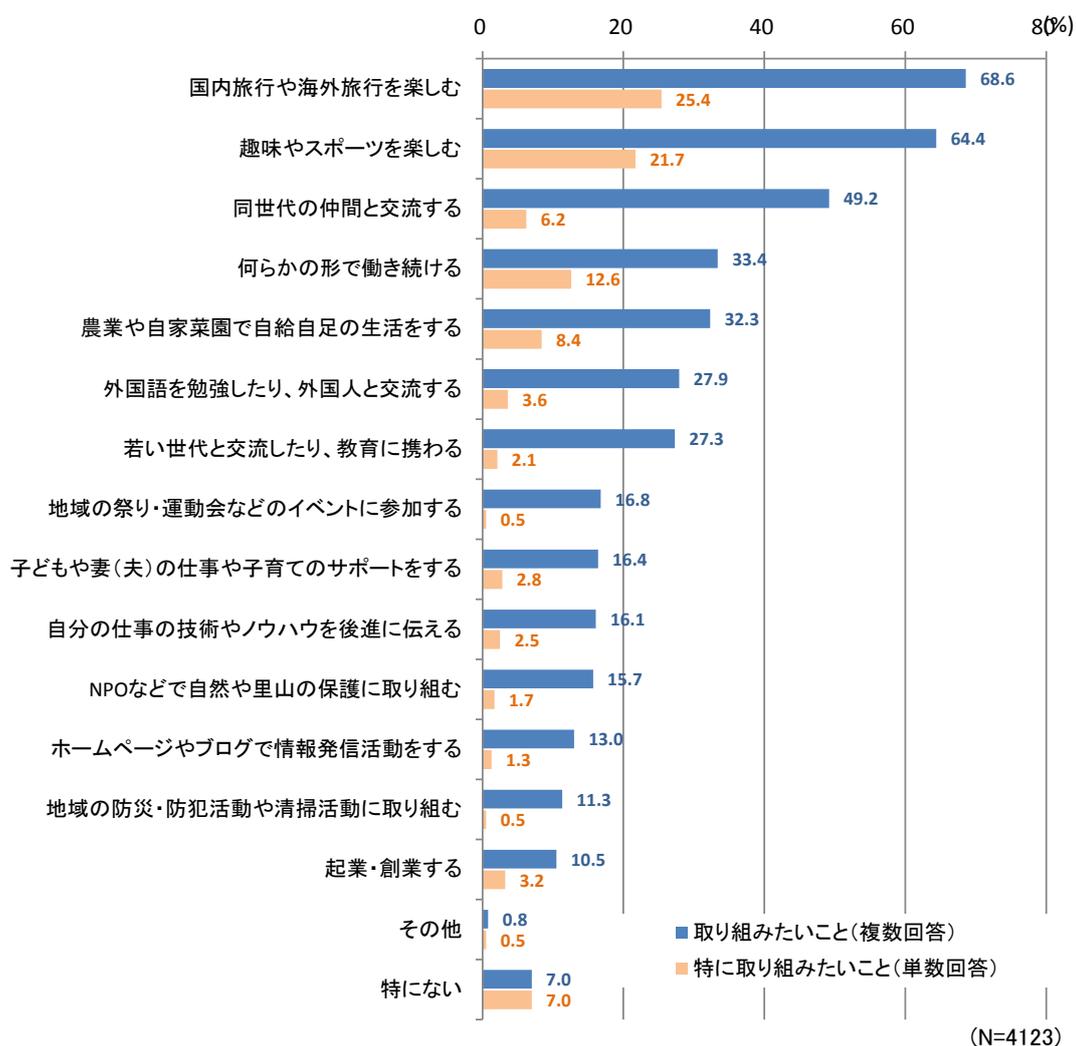
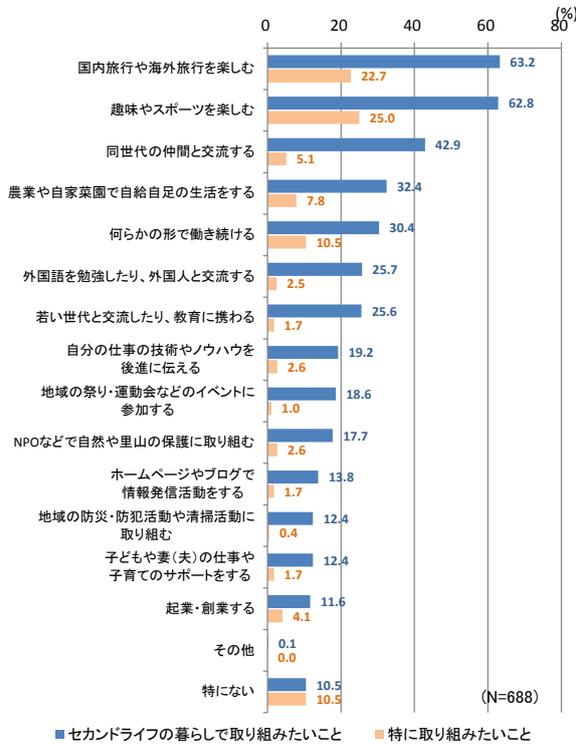


図 22 セカンドライフの暮らしで取り組みたいこと（複数回答）、特に取り組みたいこと（単回答） [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

セカンドライフの暮らしで取り組みたいことについて、性別・年代別に見ると、いずれの性別・年代においても「国内旅行や海外旅行を楽しむ」、「趣味やスポーツを楽しむ」と回答した人の割合が高くなっている。

[男性 50-54歳]



[女性 50-54歳]

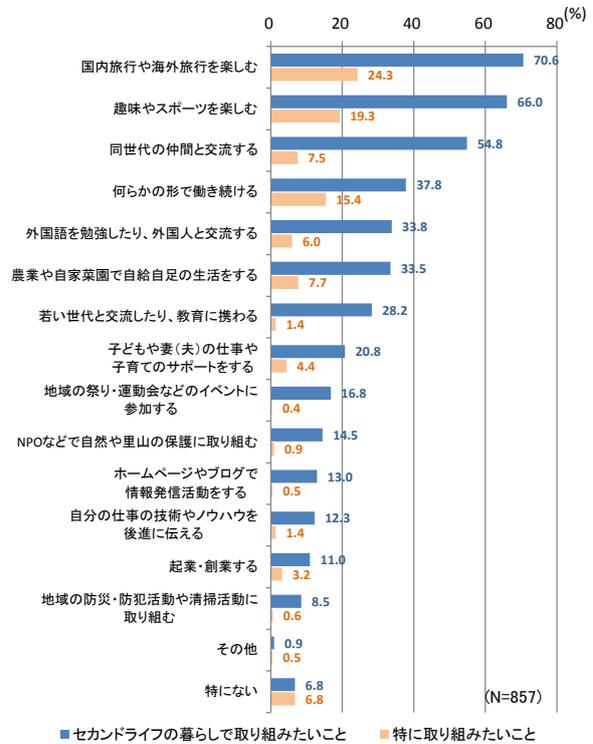
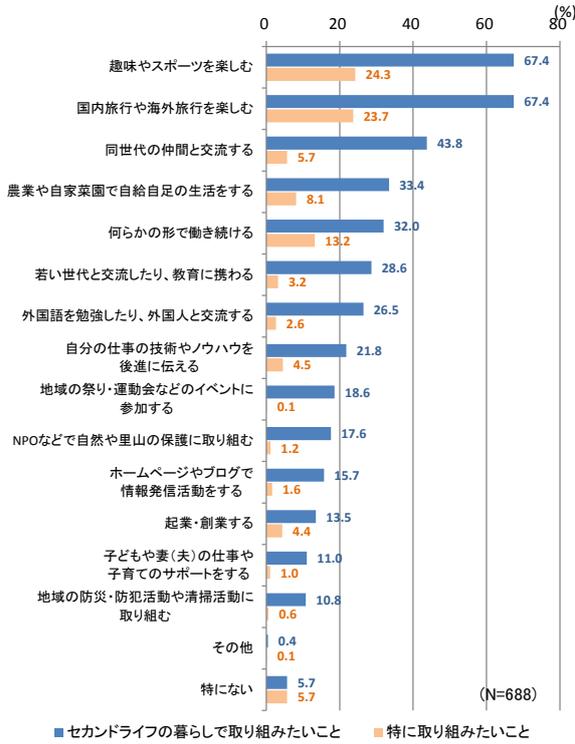


図 23 セカンドライフの暮らしで取り組みたいこと（複数回答）、特に取り組みたいこと（単回答）
（性別・年代別：50-54歳）

[男性 55-59歳]



[女性 55-59歳]

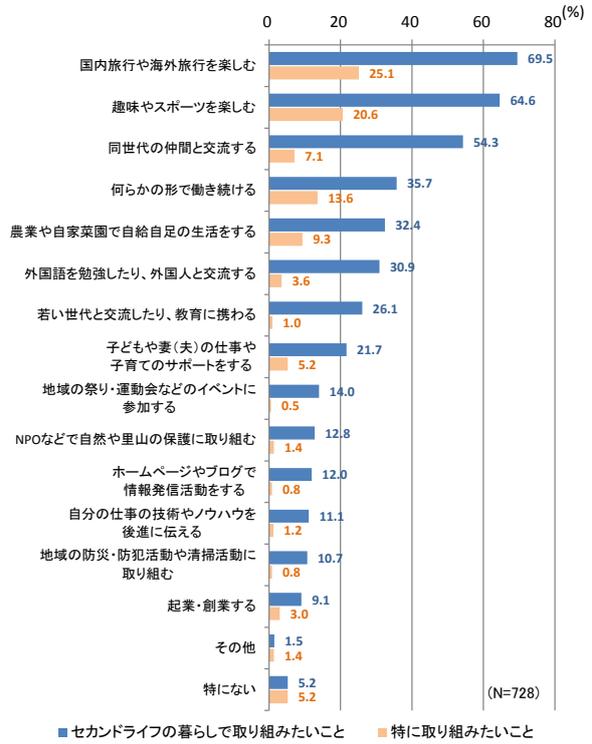
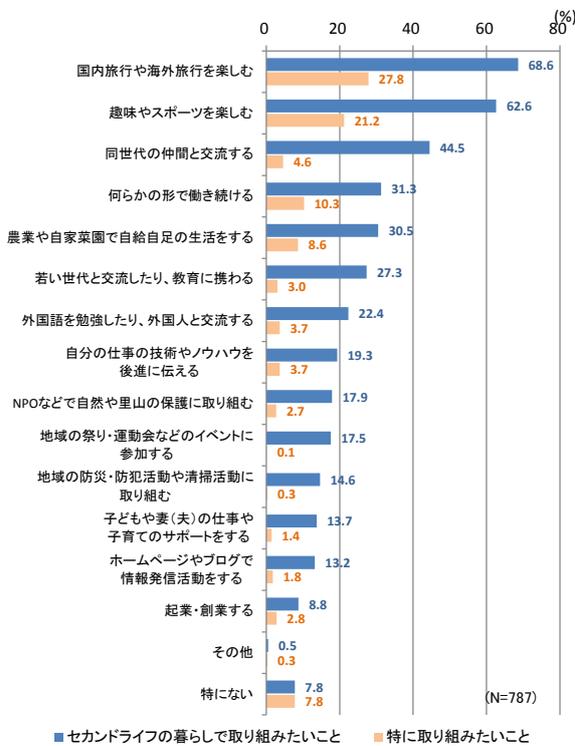


図 24 セカンドライフの暮らしで取り組みたいこと（複数回答）、特に取り組みたいこと（単回答）
（性別・年代別：55-59歳）

[男性 60-64歳]



[女性 60-64歳]

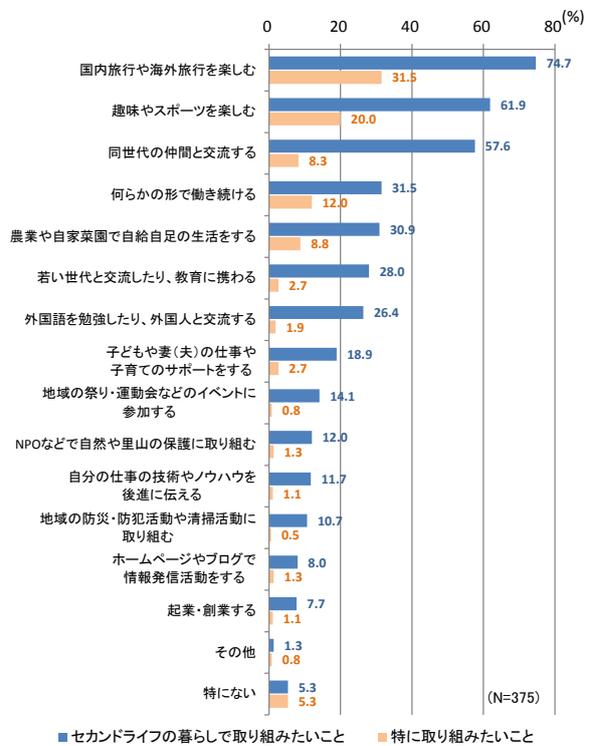


図 25 セカンドライフの暮らしで取り組みたいこと（複数回答）、特に取り組みたいこと（単回答）
（性別・年代別：60-64歳）

(3) 地方移住に関する意向

Q15. 地方に移住する場合、どのような地域で暮らしてみたいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

また、選んだ地域の中から特に暮らしたい場所を、1つお選びください。（単回答）

暮らしたい地域・特に暮らしたい地域ともに「南関東」、「沖縄県」、「北信越」が1位～3位を占めている。

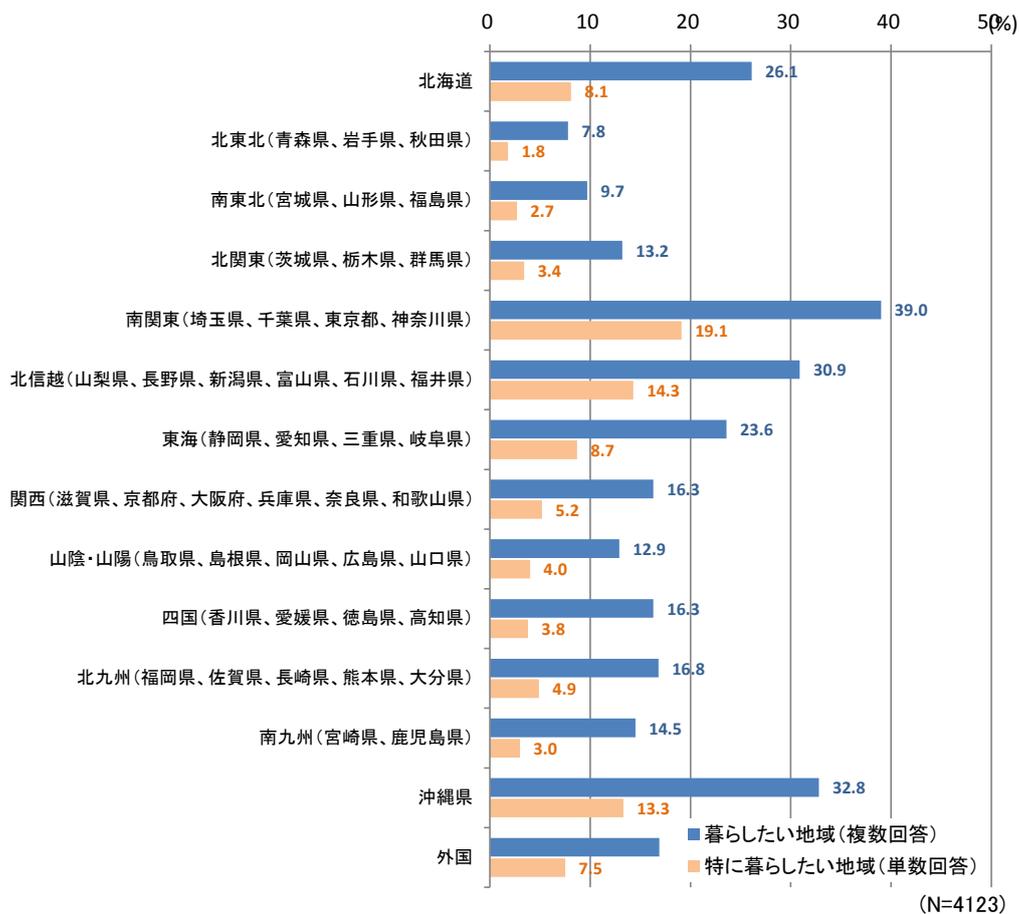


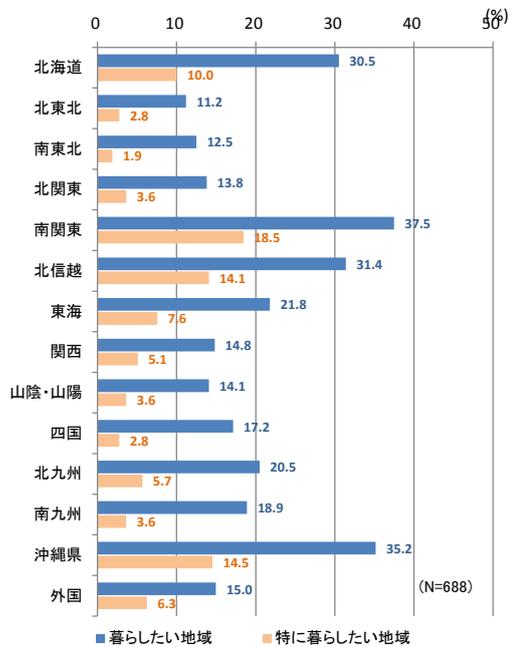
図 26 地方移住する場合に暮らしたい地域（複数回答）、特に暮らしたい地域（単回答） [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

- ・ 地方移住する場合に暮らしたい地域について、性別・年代別に見ると、いずれの性別・年代においても「南関東」や「北信越」の回答割合が高く、特に「南関東」は男性よりも女性の方が、回答割合が高い傾向がある。
- ・ 一方、男性では女性よりも「北海道」や「北東北」、「南東北」、「沖縄県」など、東京圏から離れた地方部を選択する割合が高い傾向がある。

北東北：青森県、岩手県、秋田県	南東北：宮城県、山形県、福島県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県	南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
東海：静岡県、愛知県、三重県、岐阜県	関西：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
山陰・山陽：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	四国：香川県、愛媛県、徳島県、高知県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県	南九州：宮崎県、鹿児島県

[男性 50-54歳]



[女性 50-54歳]

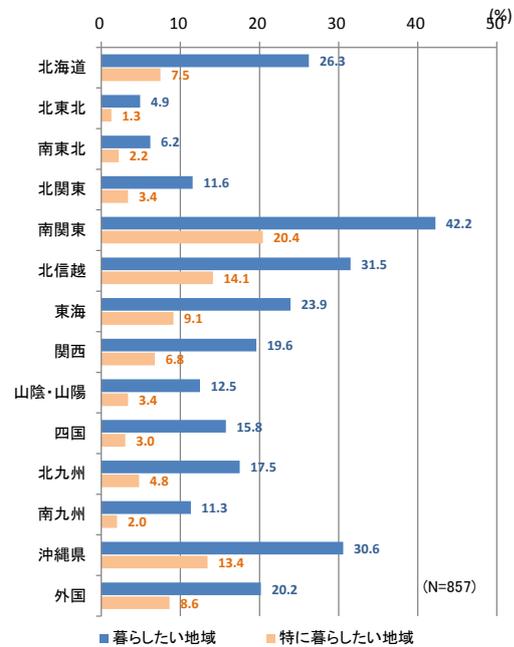
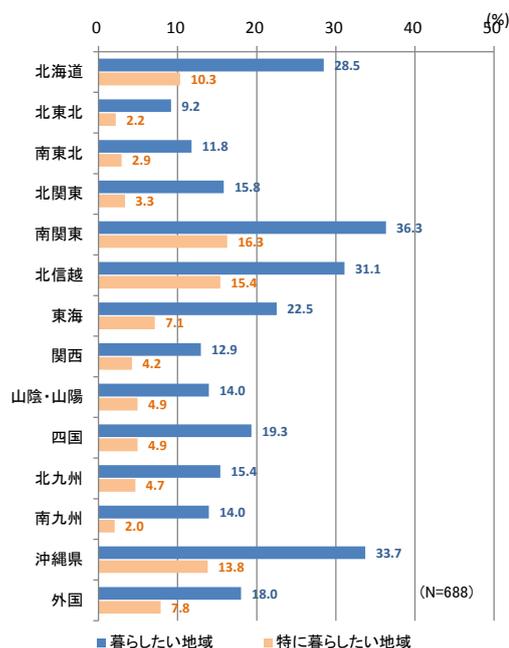


図 27 地方移住する場合に暮らしたい地域（複数回答）、特に暮らしたい地域（単回答）
（性別・年代別：50-54歳）

[男性 55-59歳]



[女性 55-59歳]

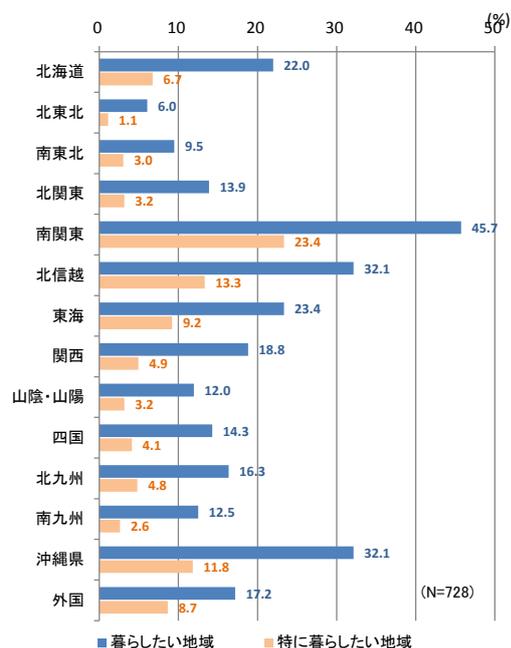
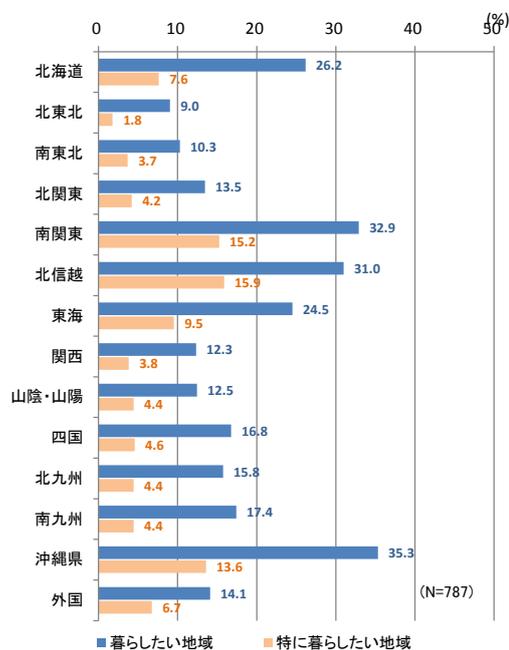


図 28 地方移住する場合に暮らしたい地域（複数回答）、特に暮らしたい地域（単回答）
（性別・年代別：55-59歳）

[男性 60-64歳]



[女性 60-64歳]

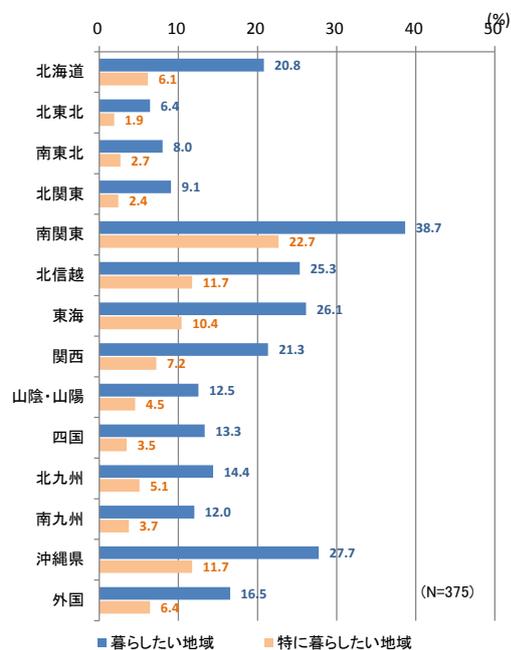


図 29 地方移住する場合に暮らしたい地域（複数回答）、特に暮らしたい地域（単回答）
（性別・年代別：60-64歳）

Q16. 地方に移住する場合、どのような方と暮らしたいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

地方移住する場合の同居人としては、「配偶者」が63.7%と最も多く、次いで「自分ひとり」が25.7%、子どもが12.3%となっている。

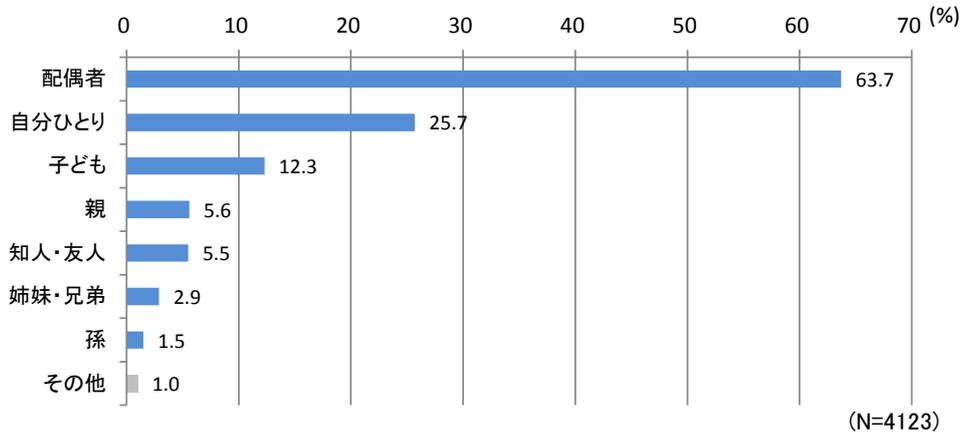


図 30 地方移住する場合の同居人 [回答者数：4,123]

Q17. 地方に移住すると仮定した場合、以下の生活スタイルのうち、どのような暮らしがよいと思いますか。この中で比較し、よいと思うものから順に必ず順位をお付けください。（単回答）

希望する生活スタイルについて見ると、「街なかや郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす」を希望する人の割合が高くなっている。「大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす」を1位に選んだ人の割合は1.7%と、他の生活スタイルに比べて低くなっている。

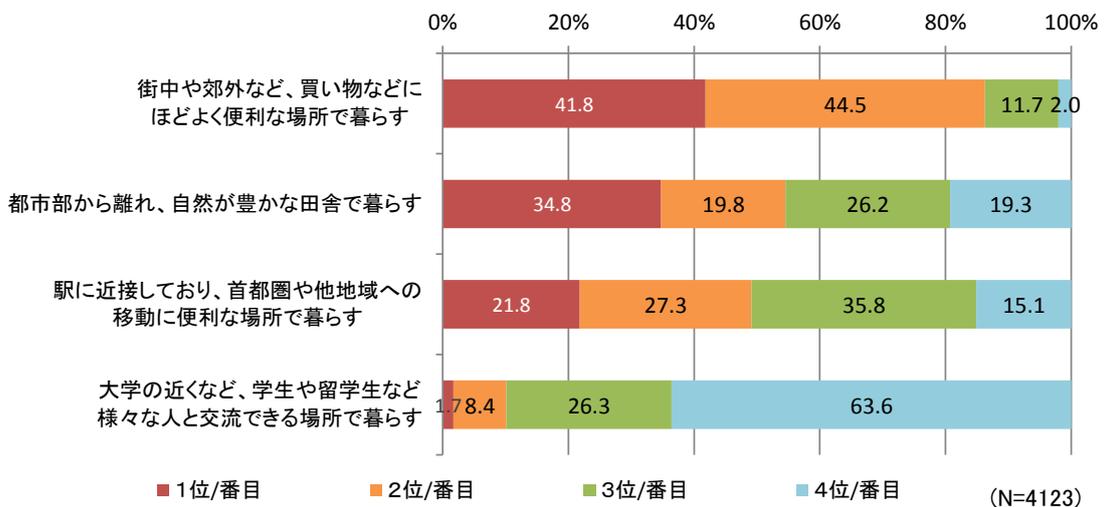


図 31 地方移住する場合に希望する生活スタイル [回答者数：4,123]

<地方移住する場合に希望する生活スタイル>

[性別・年代別]

- 性別・年代別に1位に選択した生活スタイルの割合を見ると、男性は女性に比べ、「都市部から離れ、自然が豊かな田舎で暮らす」を選択した人の割合が高い傾向がある。
- 一方、女性では「街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす」を選択した割合が高い。また、年齢が上がるごとに「駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす」を選択する割合が高くなっている。

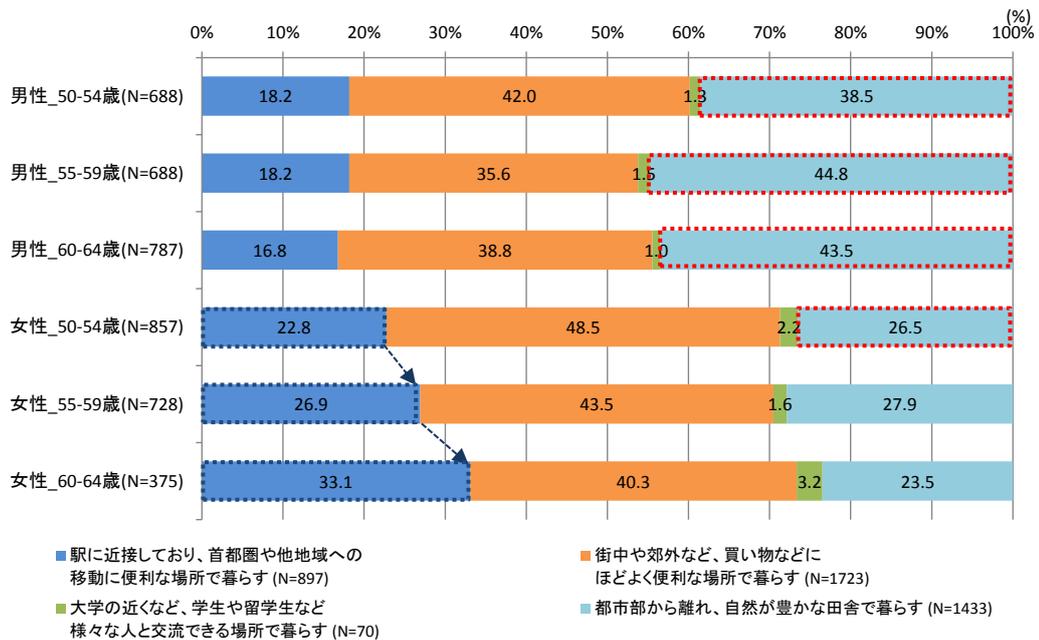


図 32 性別・年代別 地方移住する場合に希望する生活スタイル（1位）

[現在の職業別]

- 現在の職業別に1位に選択した生活スタイルの割合を見ると、総じて「街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす」を選択した割合が高い。
- 職業別の違いに着目すると、「会社役員、社長」、「会社員（正社員）」、「会社員（契約社員・派遣社員）」、「自営業・自由業」といった定職に就いている人において、「都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす」を選択した割合が40%前後と若干高い傾向がある。
- 一方、「専業主婦」では「駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす」を選択した割合が31.0%と、他の職業に比べて高い傾向がある。
- また、「現在は働いていない」と回答した人では「街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす」を選択した割合が45.9%～48.8%と高くなっている。

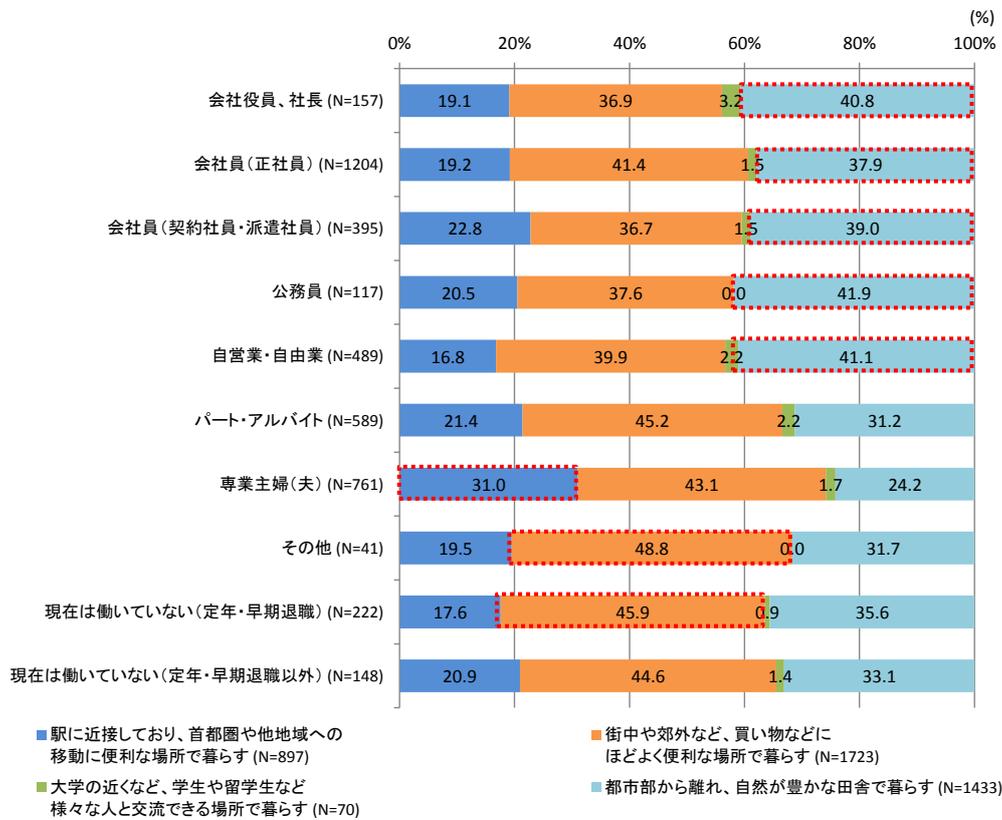


図 33 現在の職業別 地方移住する場合に希望する生活スタイル（1位）

[現在の職業・業種別]

- ・ 業種別に 1 位に選択した生活スタイルの割合を見ると、総じて「街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす」や、「都市部から離れ、自然が豊かな田舎で暮らす」を選択した割合が高い。
- ・ 「駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす」の回答割合が高い業種としては、「宿泊業・飲食サービス業」が挙げられる。
- ・ 「街中や郊外など買い物などにほどよく便利な場所で暮らす」の回答割合が高い業種としては、「複合サービス業」、「学術研究・専門技術者」、「金融・保険業」が挙げられる。
- ・ 「大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす」の回答割合が高い業種としては、「複合サービス業」や「教育・学習支援業」、「通信・情報サービス業」が挙げられる。

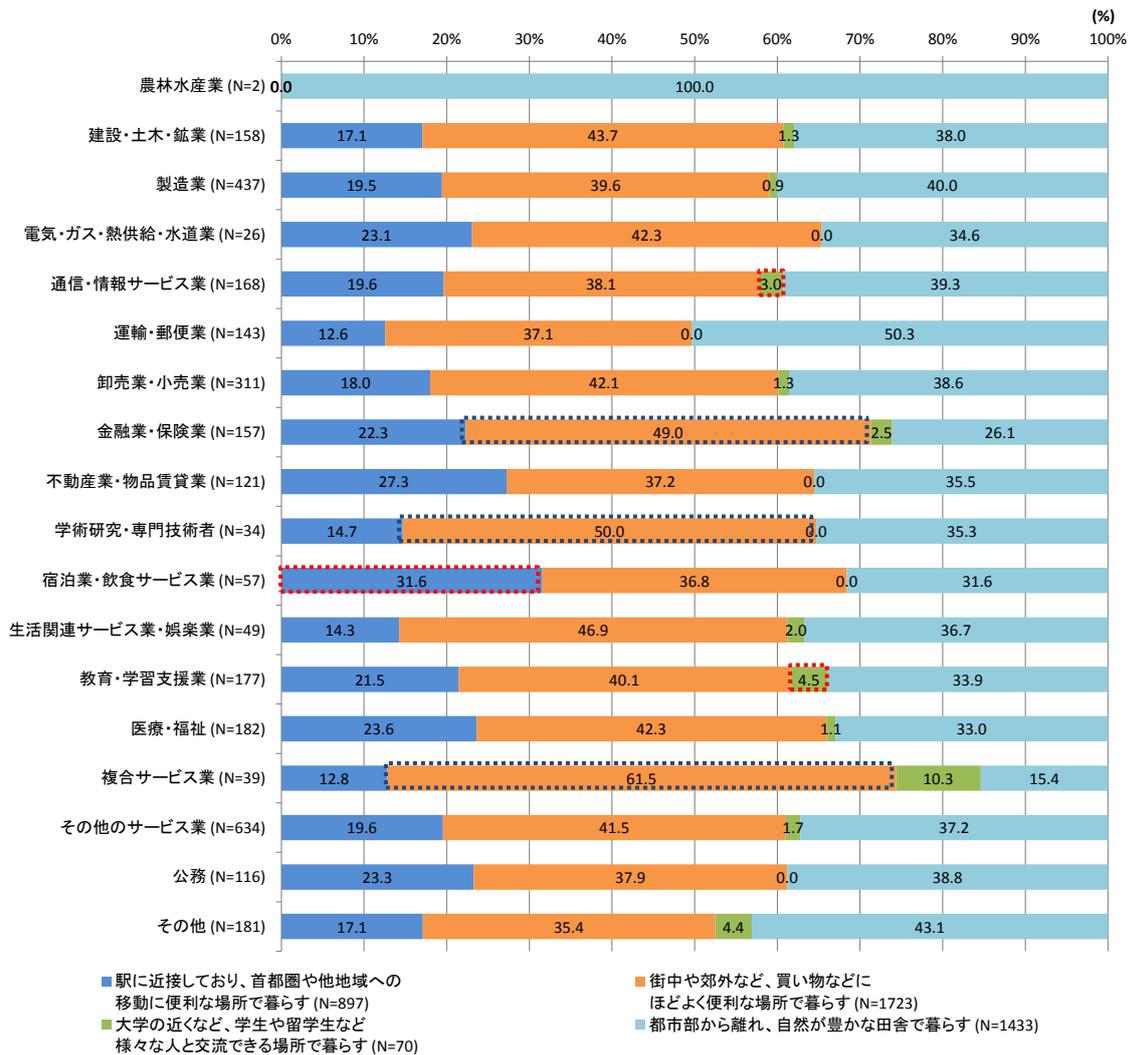


図 34 業種別 地方移住する場合に希望する生活スタイル (1位)

[セカンドライフの暮らしで取り組みたいこと・特に取り組みたいこと]

- 希望する生活スタイル（1位）別にセカンドライフの暮らしで取り組みたいこと・特に取り組みたいことについて見ると、いずれのライフスタイルにおいても、「国内旅行や海外旅行を楽しむ」、「趣味やスポーツを楽しむ」、「同世代の仲間と交流する」の回答割合が高くなっている。
- 「大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす」を1位に選択した人では、他のスタイルを選択した人よりも「若い世代と交流したり、教育に携わる」や「外国語を勉強したり、外国人と交流する」、「何らかの形で働き続ける」を選択する割合が高い傾向がある。
- 「都市部から離れ、自然が豊かな田舎で暮らす」を1位に選択した人では、他のスタイルを選択した人よりも「農業や自家菜園で自給自足の生活をする」を選択する割合が高くなっている。

・駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす

・街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす

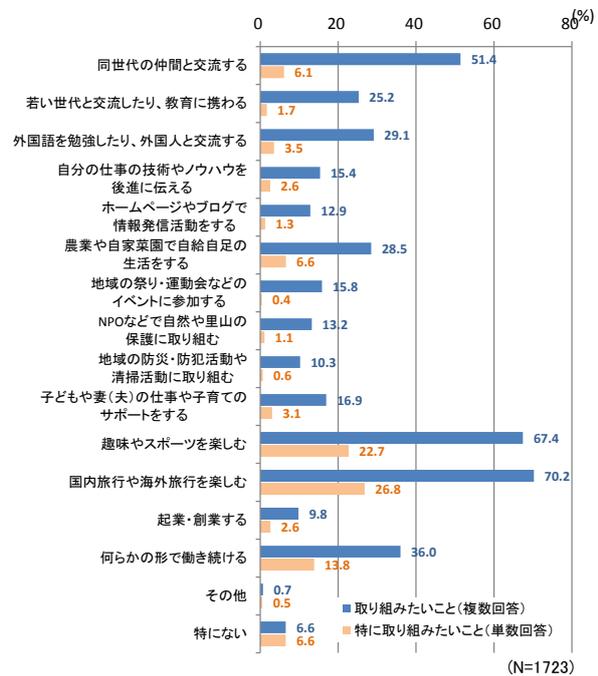
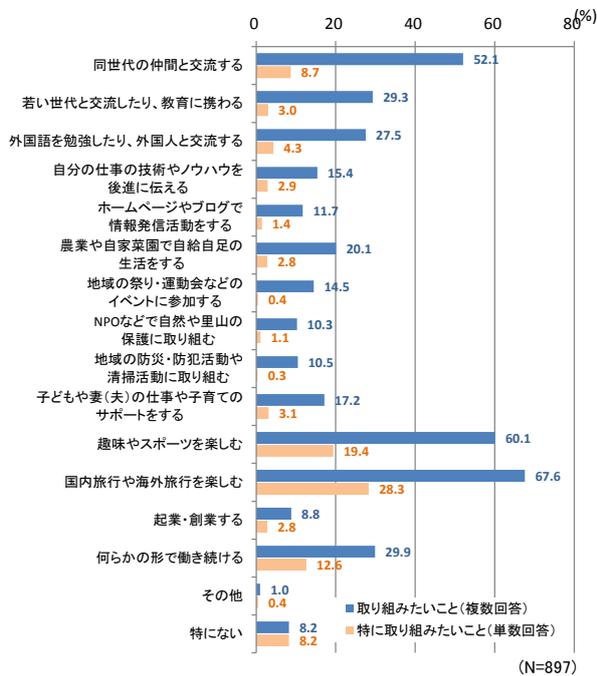


図 35 希望する生活スタイル別セカンドライフの暮らしで取り組みたいこと（複数回答）
特に取り組みたいこと（単回答）（1）

・大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流
できる場所で暮らす

・都市部から離れ、自然が豊かな田舎で暮らす

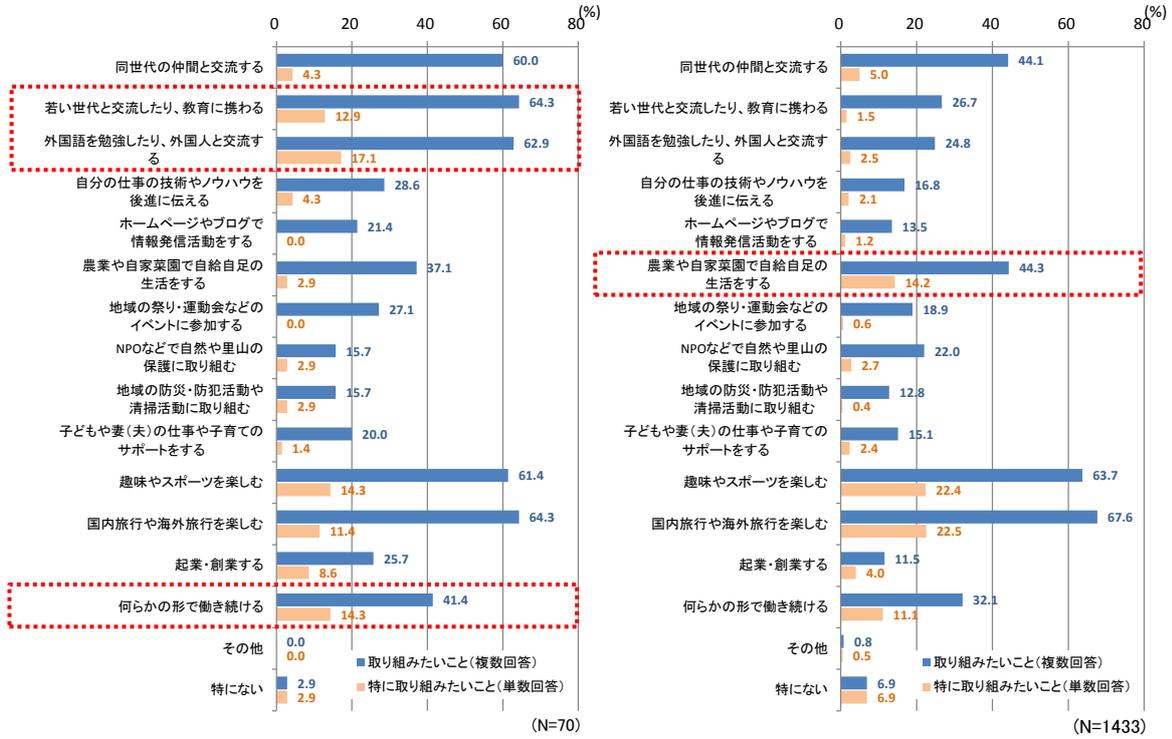


図 36 希望する生活スタイル別セカンドライフの暮らして取り組みたいこと（複数回答）
特に取り組みたいこと（単回答）（2）

[南魚沼市へのお試し居住への参加意向]

お試し居住への参加意向別に希望する生活スタイル（1位）を見ると、お試し居住への参加に積極的な人（「ぜひ参加したい」、「参加したい」と回答した人）において、「大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす」を選択した人が最も高くなっている。

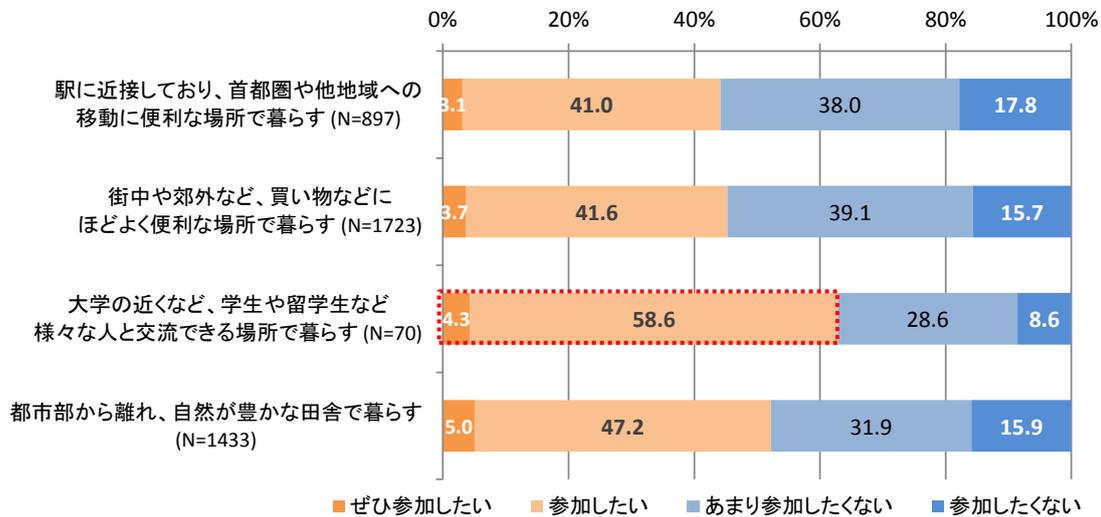


図 37 南魚沼市へのお試し居住への参加意向別 地方移住する場合に希望する生活スタイル別

Q18. 地方に移住する場合、どのような住まいで暮らしたいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

地方移住する場合に希望する住まいとしては、「中古の一戸建て」が41.8%と最も多く、次いで「古民家」が31.5%、「中古の共同住宅」が30.1%となっている。

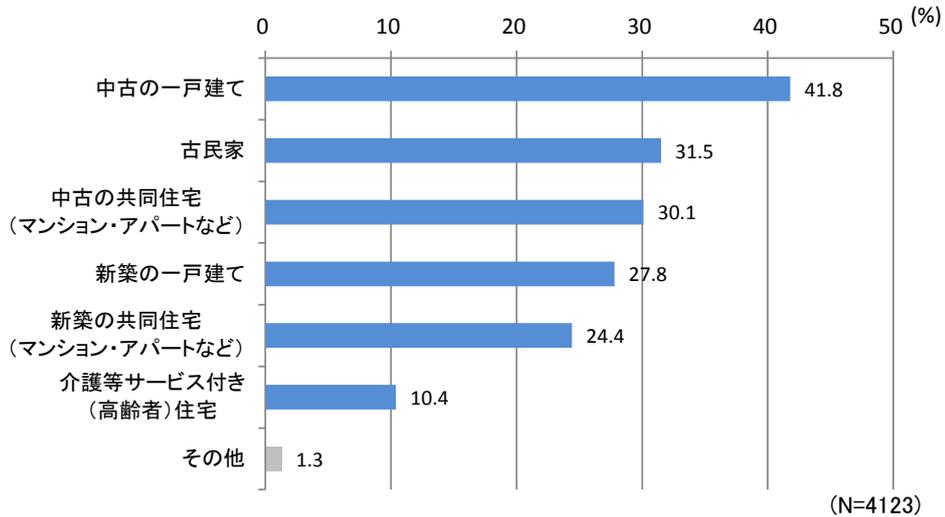


図 38 地方移住する場合に希望する住まい [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

- 地方移住する場合に希望する住まいについて性別・年代別に見ると、男性は「中古の一戸建て」、「古民家」、「新築の一戸建て」など一戸建ての住まいを希望する傾向がある。一方女性は、男性に比べて「中古の共同住宅」や「新築の中古住宅」を選択する人の割合が高い。
- また、「介護等サービス付き（高年齢者）住宅」は男性よりも女性の方が希望する人の割合が2倍程度高くなっている。

[男性] ※男性全体の値が多い順で並び替え

[女性] ※女性全体の値が多い順で並び替え

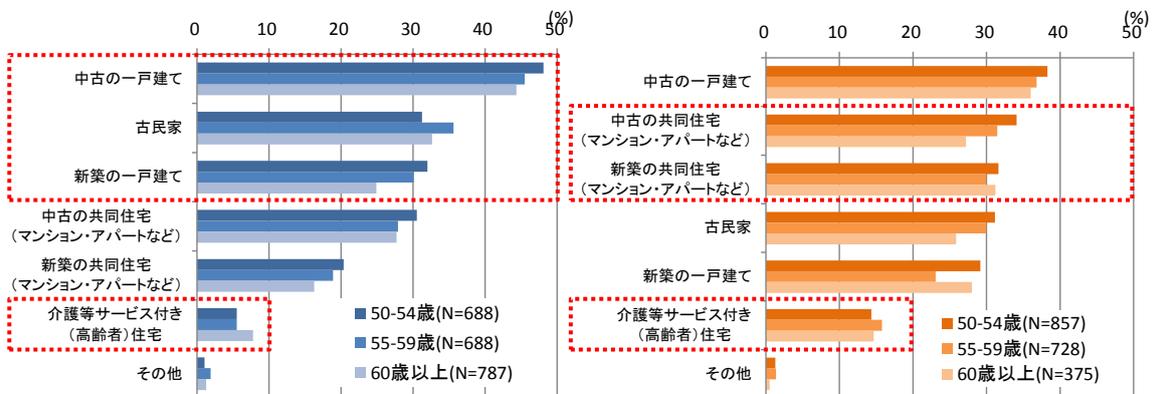


図 39 地方移住する場合に希望する住まい（性別・年代別）
[回答者数：男性：2,163／女性：1,960]

Q19. 地方に移住する場合、どのようなことが不安や課題になるとお思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）また、選んだ項目の中から特に不安や課題になるとお思うものを、1つお選びください。（単回答）

- ・ 不安や課題になるとお思うこと、特に不安や課題になるとお思うことともに「移住先での仕事・収入の確保」が最も多くなっている。
- ・ 特に不安や課題になるとお思うことへの回答に着目すると「移住先での仕事・収入の確保」に加えて「移住先での医療・福祉サービス」、「自分の健康状態」など、心身の健康に関わる項目の選択割合が高くなっている。

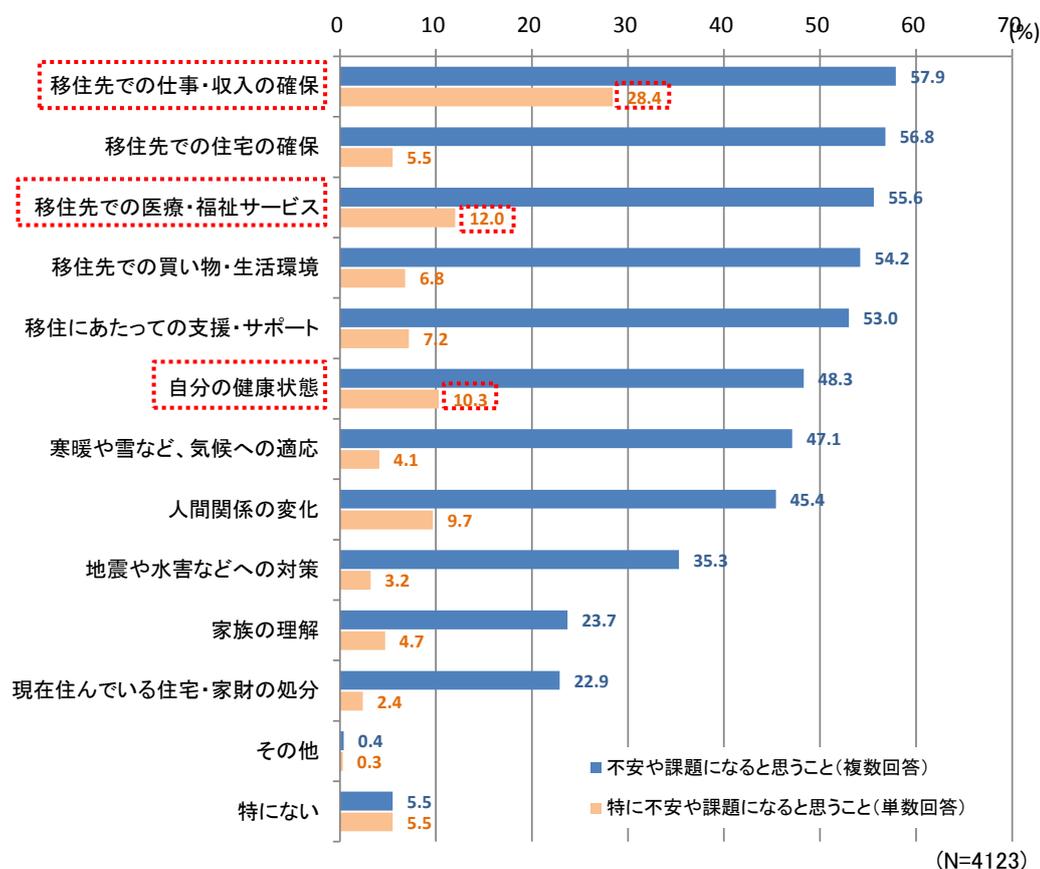
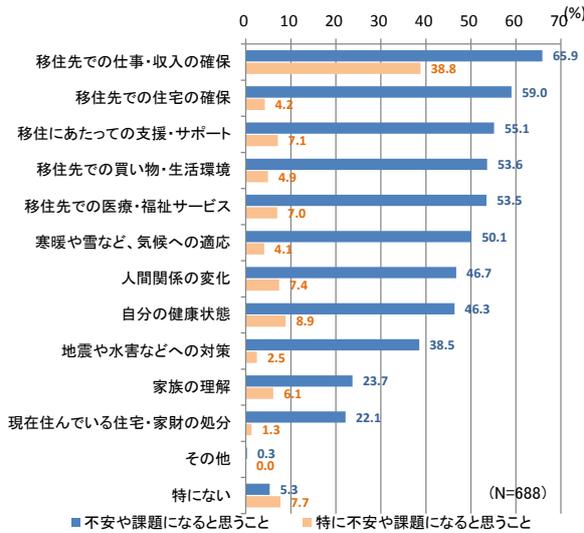


図 40 地方移住の際に不安や課題になるとお思うこと（複数回答）、特に不安や課題になるとお思うこと（単回答） [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

- ・ 地方移住の際に特に不安や課題になると思うことについて、性別・年代別に見ると、50-54歳では男女ともに「移住先での仕事・収入の確保」が30%を超える高い回答割合となっている。一方、年齢が上がるにつれて「移住先での仕事・収入の確保」の回答割合は低くなり、代わりに「移住先での医療・福祉サービス」や「自分の健康状態」の回答割合が高まる傾向がある。
- ・ また、女性では男性よりも「人間関係の変化」に不安を感じる割合が高まっている。

[男性 50-54歳]



[女性 50-54歳]

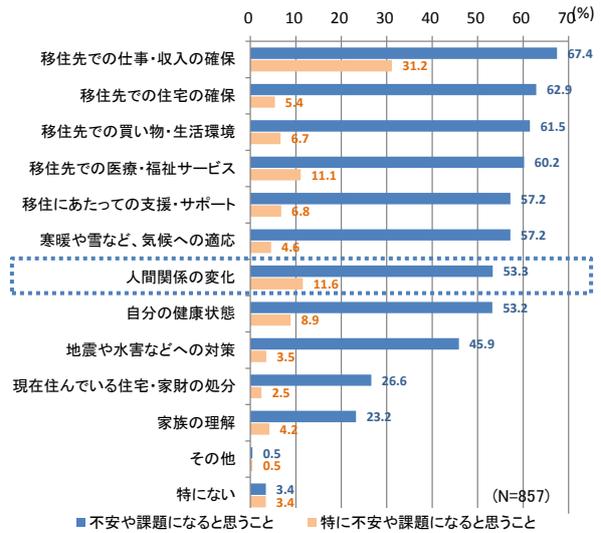
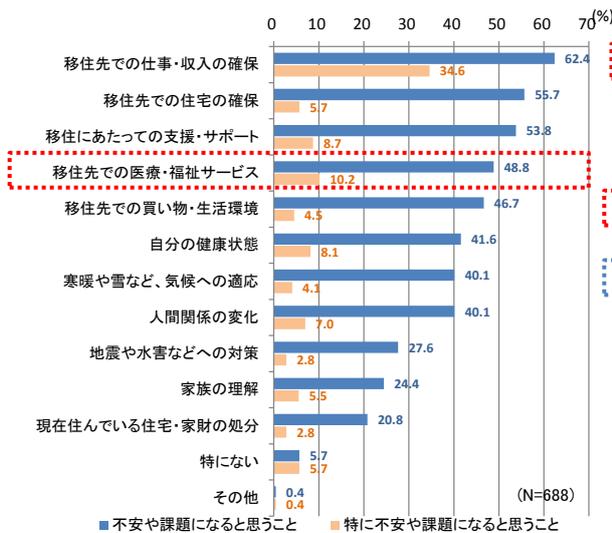


図 41 地方移住の際に不安や課題になると思うこと（複数回答）、
特に不安や課題になると思うこと（単回答）（性別・年代別：50-54歳）

[男性 55-59歳]



[女性 55-59歳]

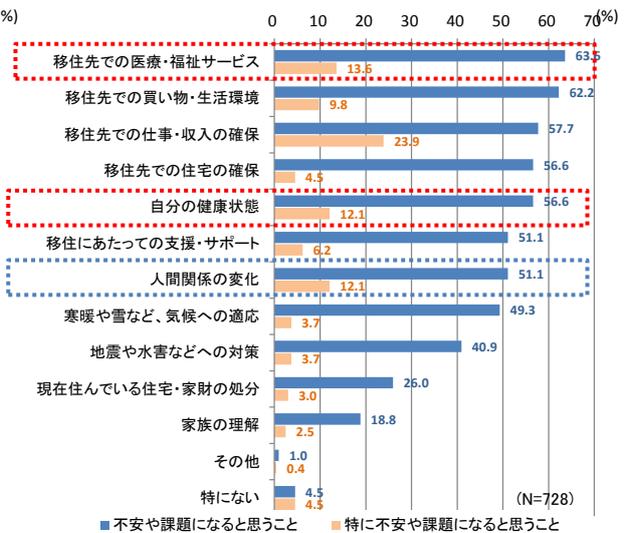
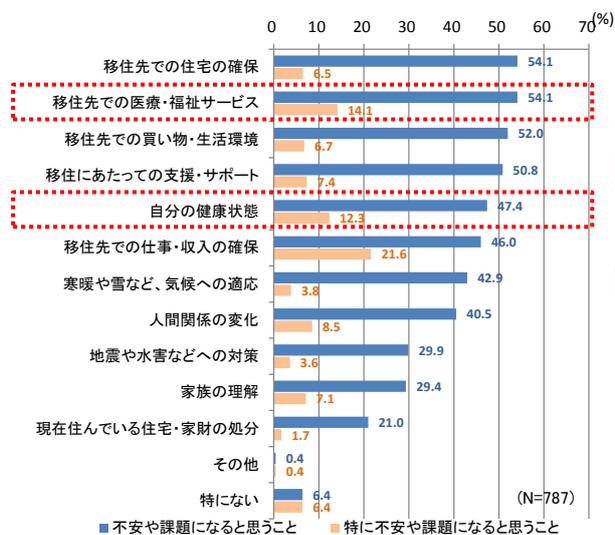


図 42 地方移住の際に不安や課題になると思うこと（複数回答）、
特に不安や課題になると思うこと（単回答）（性別・年代別：55-59歳）

[男性 60-64歳]



[女性 60-64歳]

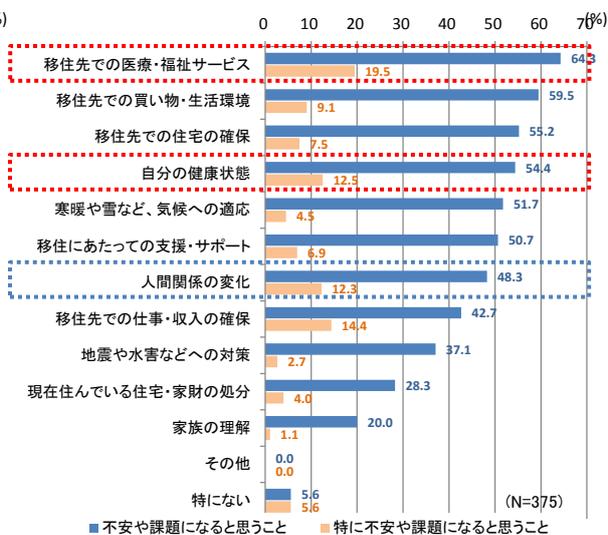


図 43 地方移住の際に不安や課題になると思うこと（複数回答）、
特に不安や課題になると思うこと（単回答）（性別・年代別：60-64歳）

(4) 南魚沼市への関心

Q20. あなたは新潟県や南魚沼市・南魚沼市周辺の市町村にゆかりがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

- 新潟県や南魚沼市への関わりを聞いたところ、いずれの地域でも「訪れたことはない」と回答した人の割合が高い。「観光などで訪れたことがある」と回答した人の割合に着目すると、割合の高い順に上越地域（40.0%）、中越地域（35.3%）、下越地域（30.0%）、南魚沼市以外の魚沼地域（26.0%）、南魚沼市（24.3%）、佐渡地域（20.1%）となっている。
- 南魚沼市に何らかの関わりを持っている人は全体の25%程度であった。

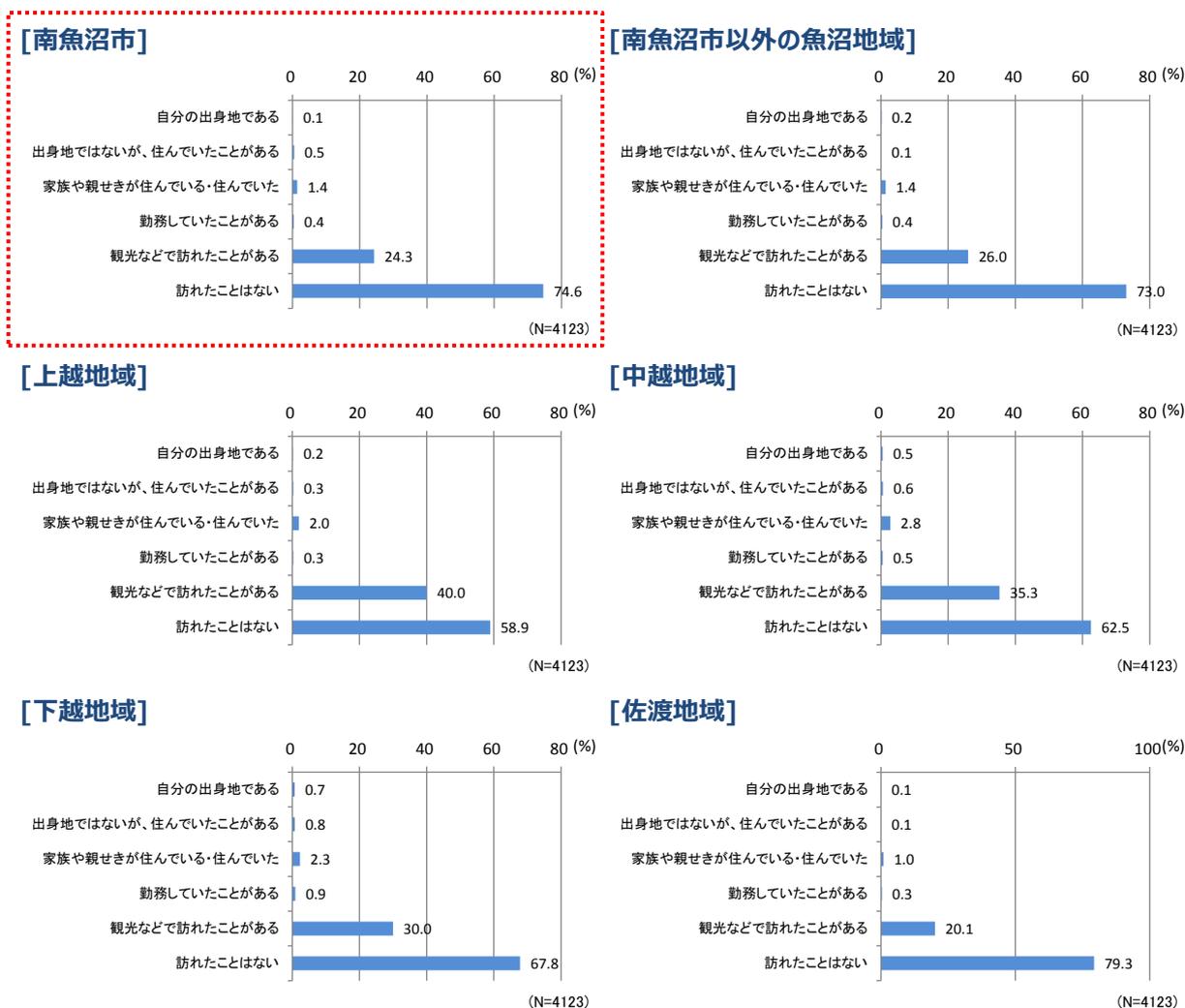


図 44 新潟県や南魚沼市・南魚沼市周辺の市町村へのゆかりの有無 [回答者数：4,123]

Q21.南魚沼市では、移住者の受入に向けて様々なキャンペーン、プロジェクトに取り組んでいます。南魚沼市が作成した広告をご覧になり、南魚沼市での暮らしに対してどのような印象を持ちましたか。あてはまるものを一つお選びください。（単回答）

南魚沼市の暮らしに関する広告に対する印象を聞いたところ、「もともと南魚沼市での暮らしに興味・関心はなかったが、広告を見て興味・関心が湧いた」が46.2%と最も多かった。一方、「もともと南魚沼市での暮らしに興味・関心はなかったが、広告を見ても、興味・関心は持てなかった」も42.5%と、新たに興味・関心が湧いた人と同程度となっている。

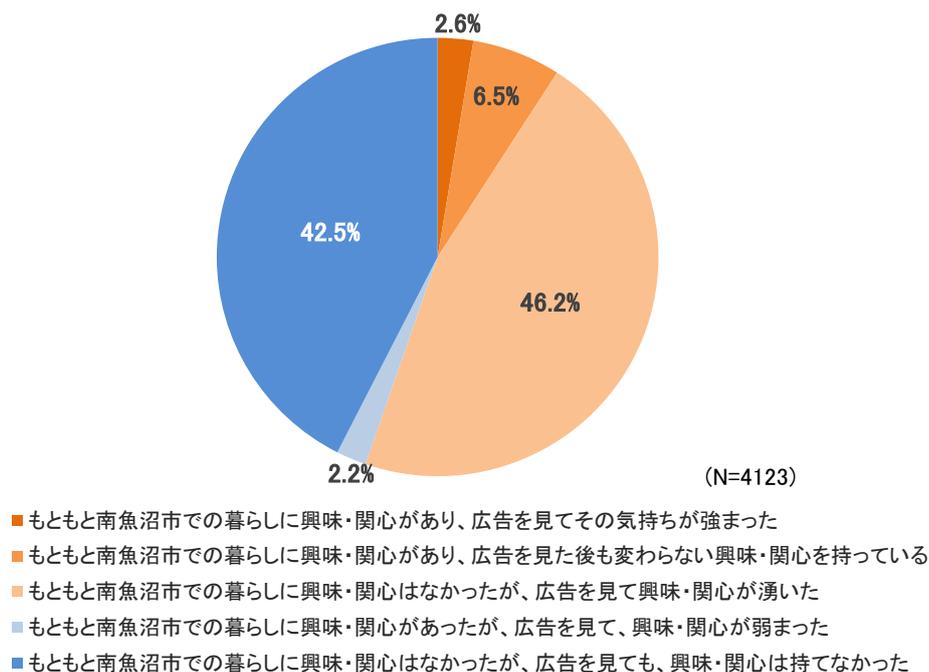


図 45 南魚沼市が作成した広告を見て持った魚沼市での暮らしに対する印象 [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

南魚沼市の暮らしに関する広告に対する印象について、性別・年代別に見ると、「もともと南魚沼市での暮らしに興味・関心があり、広告を見てその気持ちが強まった」、「もともと南魚沼市での暮らしに興味・関心があり、広告を見た後も変わらない興味・関心を持っている」、「もともと南魚沼市での暮らしに興味・関心はなかったが、広告を見て興味・関心が湧いた」を足し合わせた割合は55-59歳男性で最も高く、55-59歳女性で最も低くなっている。

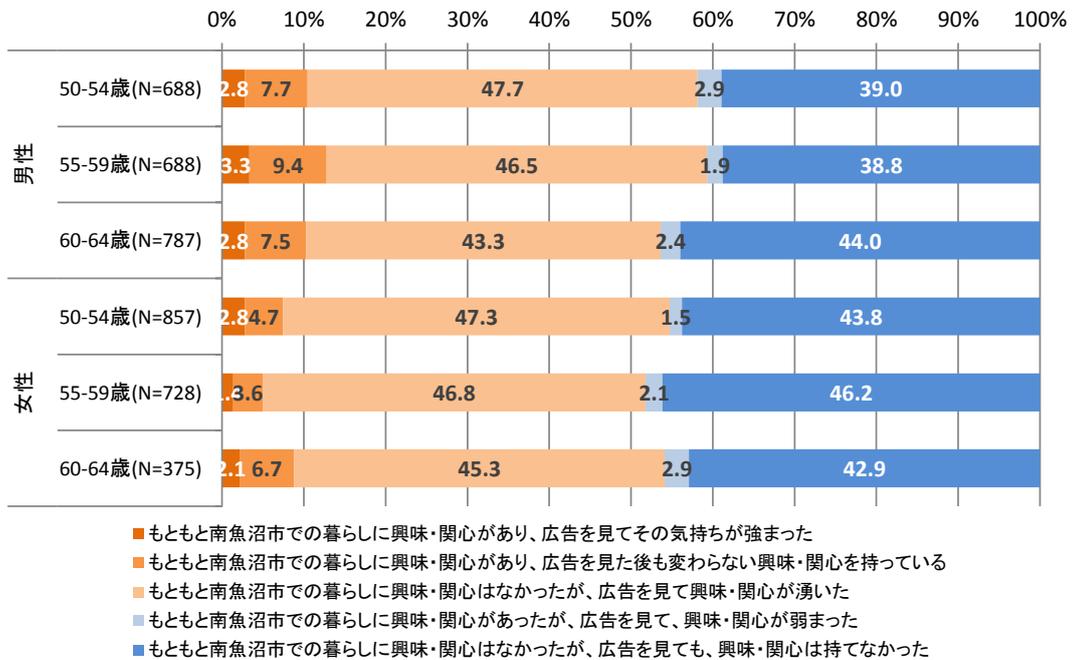


図 46 南魚沼市が作成した広告を見て持った魚沼市での暮らしに対する印象（性別・年代別）
[回答者数：男性：2,163／女性：1,960]

Q22. 広告の中で、特に興味・関心を持ったポイントはどこでしたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

広告を見て興味・関心を持ったと回答した人（「興味・関心があり、広告を見てその気持ちが強まった」、「興味・関心があり、広告を見た後も変わらない興味・関心を持っている」、「興味・関心はなかったが、広告を見て興味・関心が湧いた」）を対象に、どのようなポイントが魅力的であったか聞いたところ、「自然が豊か」が84.0%と最も多く、次いで「温泉がある」が66.1%、「食が豊か」が60.9%の順に高くなっている。

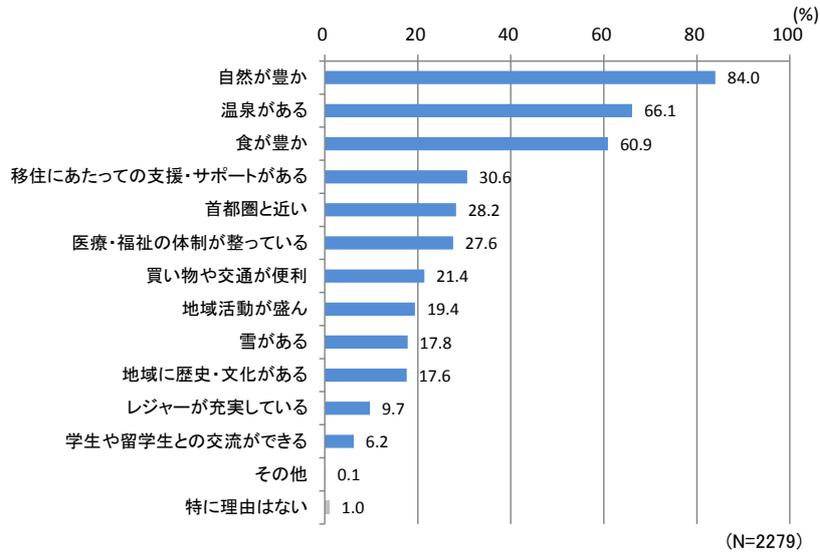
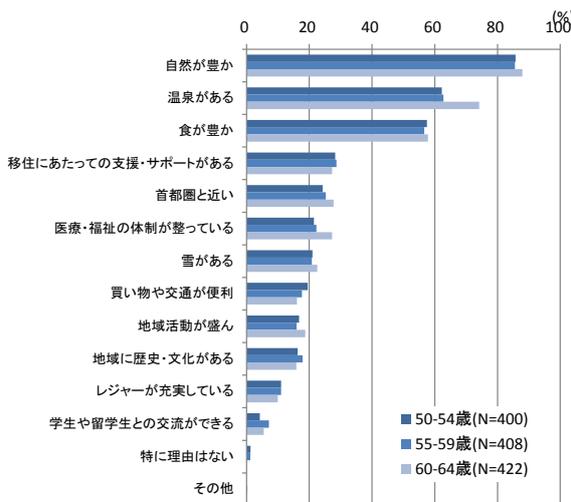


図 47 広告の中で特に興味・関心を持ったポイント
 [N数（回答者数：Q21で、「興味・関心が強まった」、「変わらず興味・関心を持っている」、「興味・関心が湧いた」と回答した方）：2,279]

<性別・年代別>

性別・年代別に見ると、いずれにおいても「自然が豊か」、「温泉がある」、「食が豊か」の回答割合が高い。

[男性] ※男性全体の値が多い順で並び替え



[女性] ※女性全体の値が多い順で並び替え

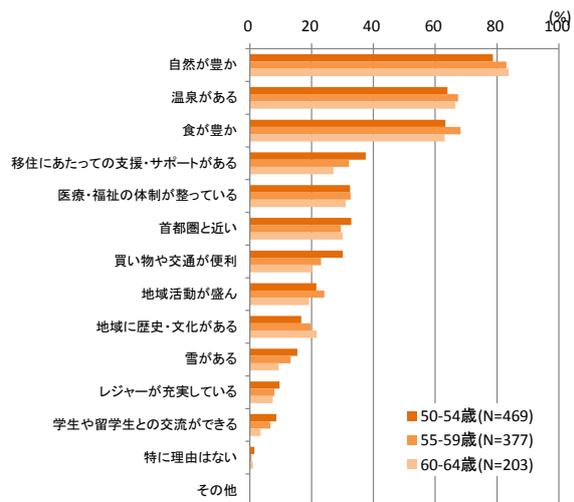


図 48 広告の中で特に興味・関心を持ったポイント
 [N数（回答者数：Q21で、「興味・関心が強まった」、「変わらず興味・関心を持っている」、「興味・関心が湧いた」と回答した方）：男性：1,230／女性：1,049]

Q23. 関心が弱まった、関心を持てなかったと回答した人にお聞きます。その理由について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

広告を見ても興味・関心を持てなかったと回答した人（「興味・関心があったが、広告を見てその気持ちが弱まった」、「興味・関心はなかったが、広告を見ても興味・関心を持てなかった」と回答した人に対し、その理由を聞いたところ、「雪がある」が49.5%と最も多く、次いで「買い物や交通が不便」が18.4%、「医療・福祉の体制に不安がある」が14.4%となっている。

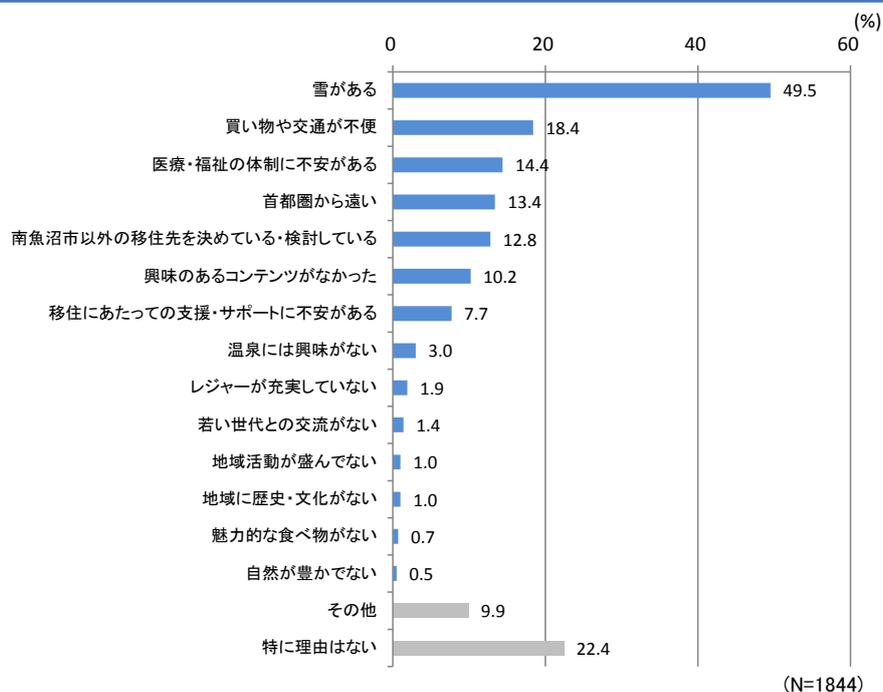
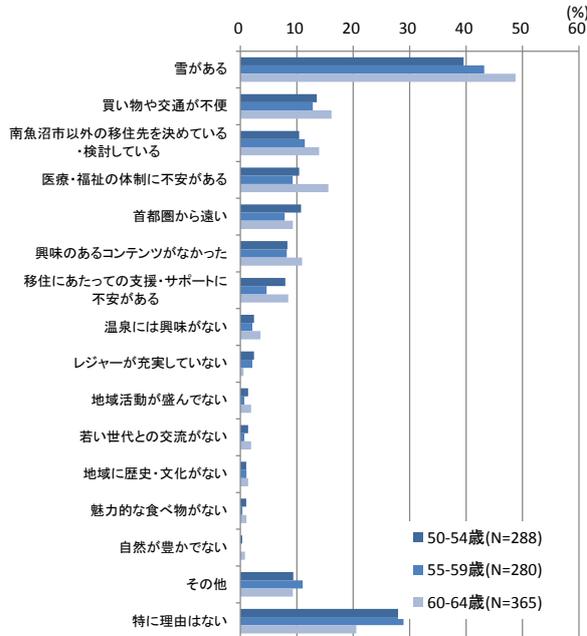


図 49 広告の中で特に興味・関心を持てなかった理由 [N数（回答者数：Q21で、「興味・関心が弱まった」、「興味・関心は持てなかった」と回答した方）：1,844]

<性別・年代別>

広告の中で興味・関心が弱まった・持てなかった理由、特に興味・関心が弱まった・持てなかった理由について、性別・年代別に見ると、いずれの性別・年代でも「雪がある」と回答した人の割合が突出して高く、さらに男性よりも女性の回答割合が高い傾向がある。

【男性】 ※男性全体の値が多い順で並び替え



【女性】 ※女性全体の値が多い順で並び替え

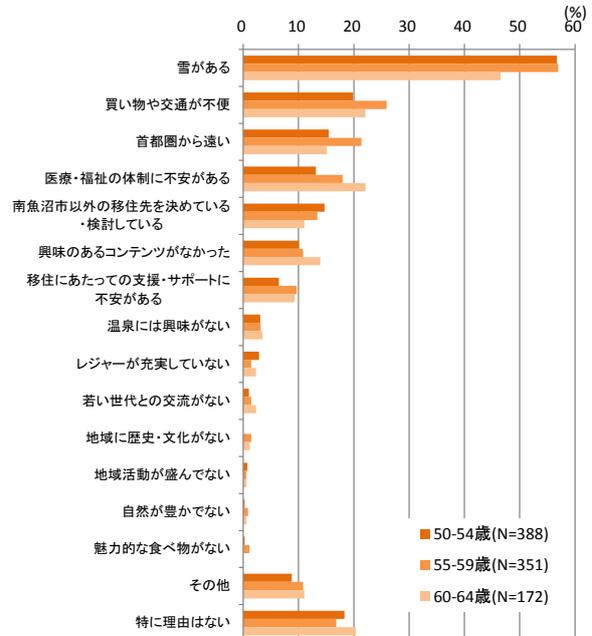


図 50 広告の中で特に興味・関心を持てなかった理由 [N数（回答者数：Q21で、「興味・関心が弱まった」、「興味・関心は持てなかった」と回答した方：男性：933／女性：911]

Q24. 南魚沼市では、現在移住者の方に様々な活躍をしていただけるよう、様々なコンテンツの開発に取り組んでいます。南魚沼市に移住すると仮定した場合、どのような活躍をしてみたいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

南魚沼市での活躍イメージについて聞いたところ、「特にない」を除くと、「地元の産品を使った商品や地域ブランドの開発に取り組む」が21.3%と最も多く、次いで「地元の産品を使った農家レストランで働く」が21.1%、「NPOなどで自然や里山の保護に取り組む」が19.9%となっている。

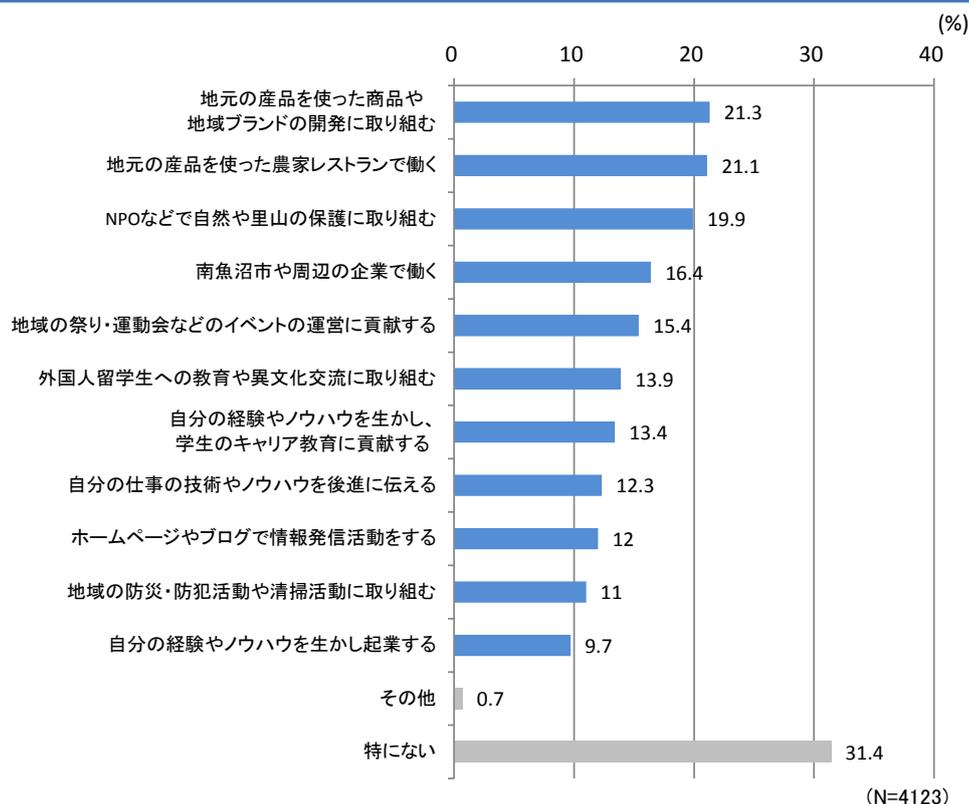
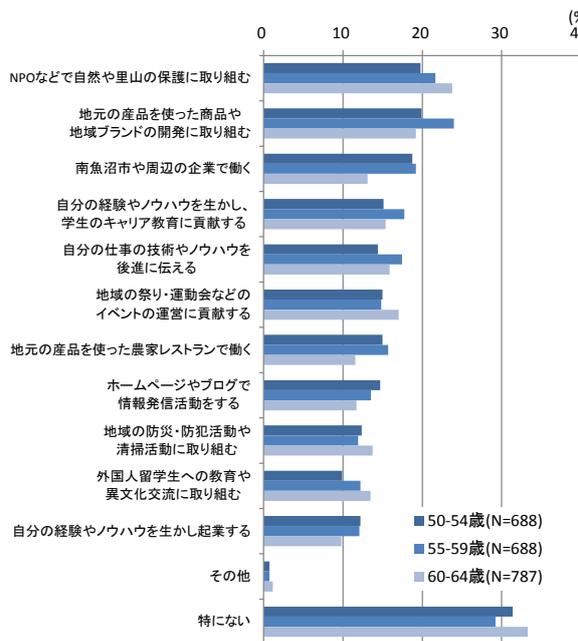


図 51 南魚沼市での活躍のイメージ（複数回答）
[回答者数：4,123]

＜性別・年代別＞

- ・ 南魚沼市での活躍のイメージについて、性別・年代別に見ると、男女ともに「特にない」と回答した人の割合が最も高くなっている。そのほかでは「NPOなどで自然や里山の保護に取り組む」、「地元の産品を使った商品や地域ブランドの開発に取り組む」の回答割合が高い。
- ・ 性別で特徴的な回答を見ると、男性では「南魚沼市や周辺の企業で働く」や「自分の経験やノウハウを生かし、学生のキャリア教育に貢献する」、女性では「地元の産品を使った農家レストランで働く」、「外国人留学生への教育や異文化交流に取り組む」の回答割合が高い。

【男性】 ※男性全体の値が多い順で並び替え



【女性】 ※女性全体の値が多い順で並び替え

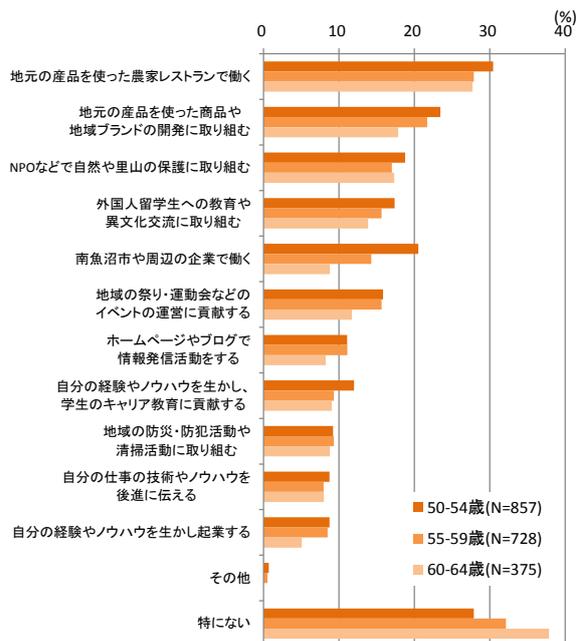


図 52 南魚沼市での活躍のイメージ [N数（回答者数：男性：2,163／女性：1,960）]

Q25. 南魚沼市では、短期間南魚沼市での暮らしを体験できる「お試し居住」を、季節により実施しています。もし機会があれば、参加してみたいと思いますか。あてはまるものを一つお選びください。（単回答）

南魚沼市での「お試し居住」に対する参加意向を聞いたところ、「参加したい」が43.7%と最も多く、「ぜひ参加したい」と合わせた参加意向のある回答者の割合は47.8%となっている。

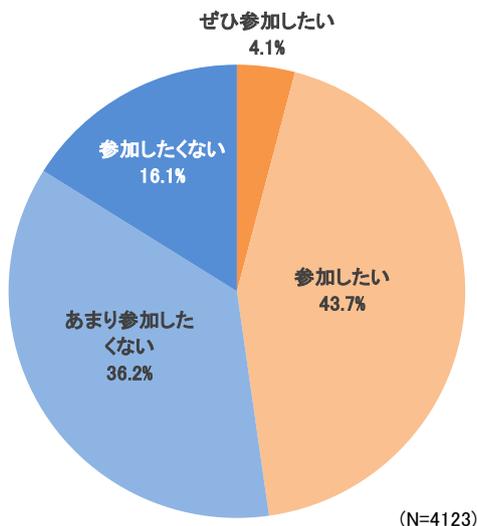


図 53 南魚沼市での「お試し居住」への参加意向 [回答者数：4,123]

<性別・年代別>

南魚沼市での「お試し居住」に対する参加意向について、性別・年代別に見ると、「ぜひ参加したい」、「参加したい」を足し合わせた割合は、男女ともに50-54歳で最も高くなっている。

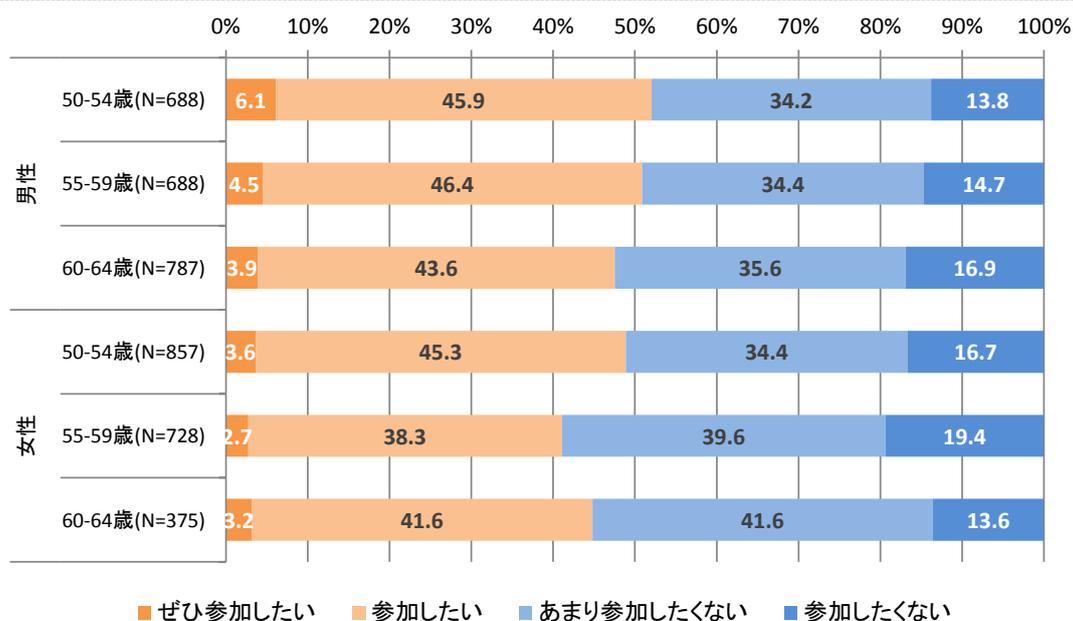


図 54 南魚沼市での「お試し居住」への参加意向 [N数（回答者数：男性：2,163／女性：1,960）]